

317
457



* 0043791000 *

0043791-000

特222-711

小学校専科正教員全科短期合格
受験法

大明堂編集部・編

大明堂書店

昭和3

AHE

317

459

教育部編輯部編

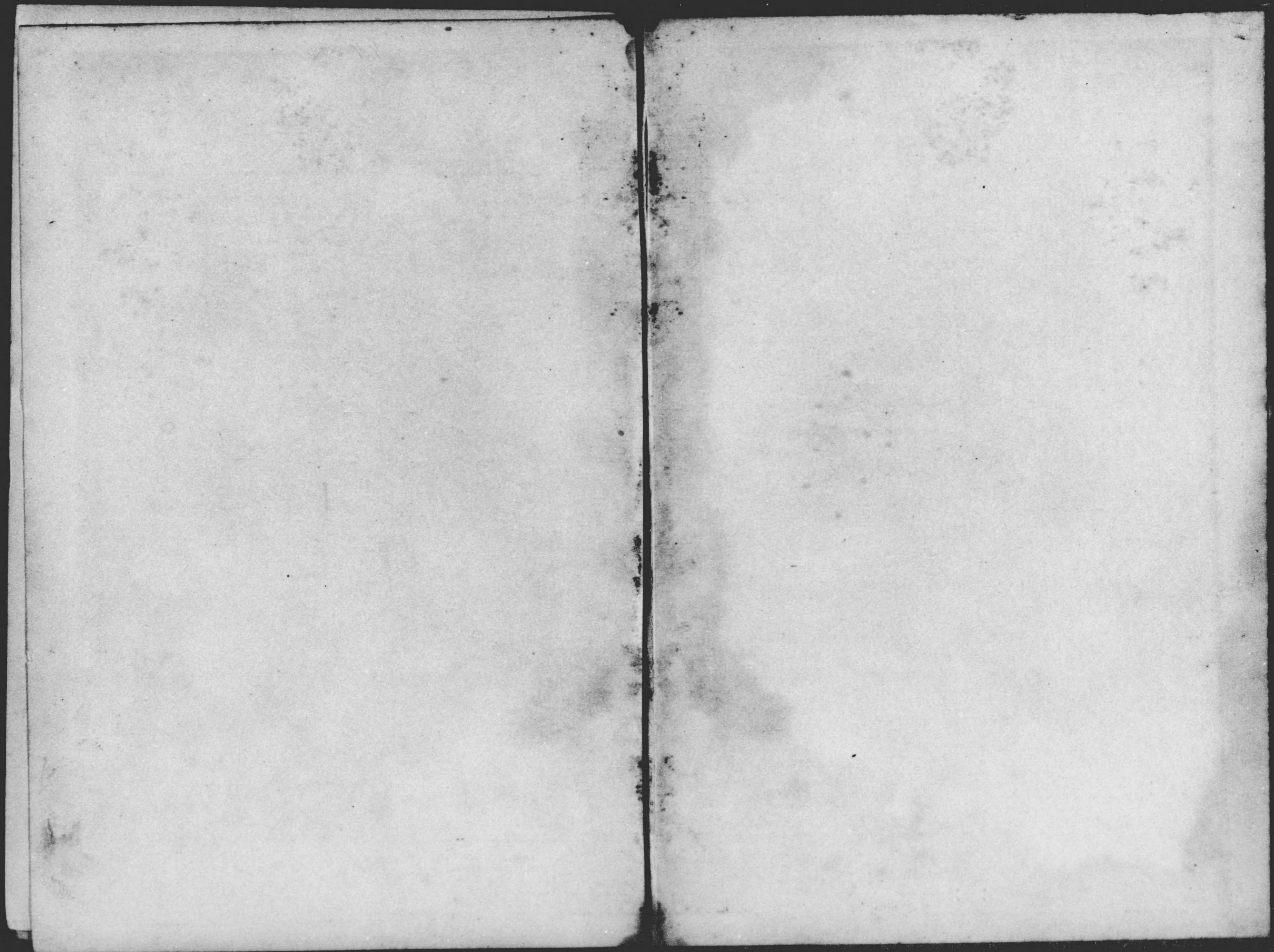
小學校
專科正教員

全科

短期
合格

受驗法

付各府縣試驗期日・手續規定・最近問題總覽



特222
711



大明堂編輯部編

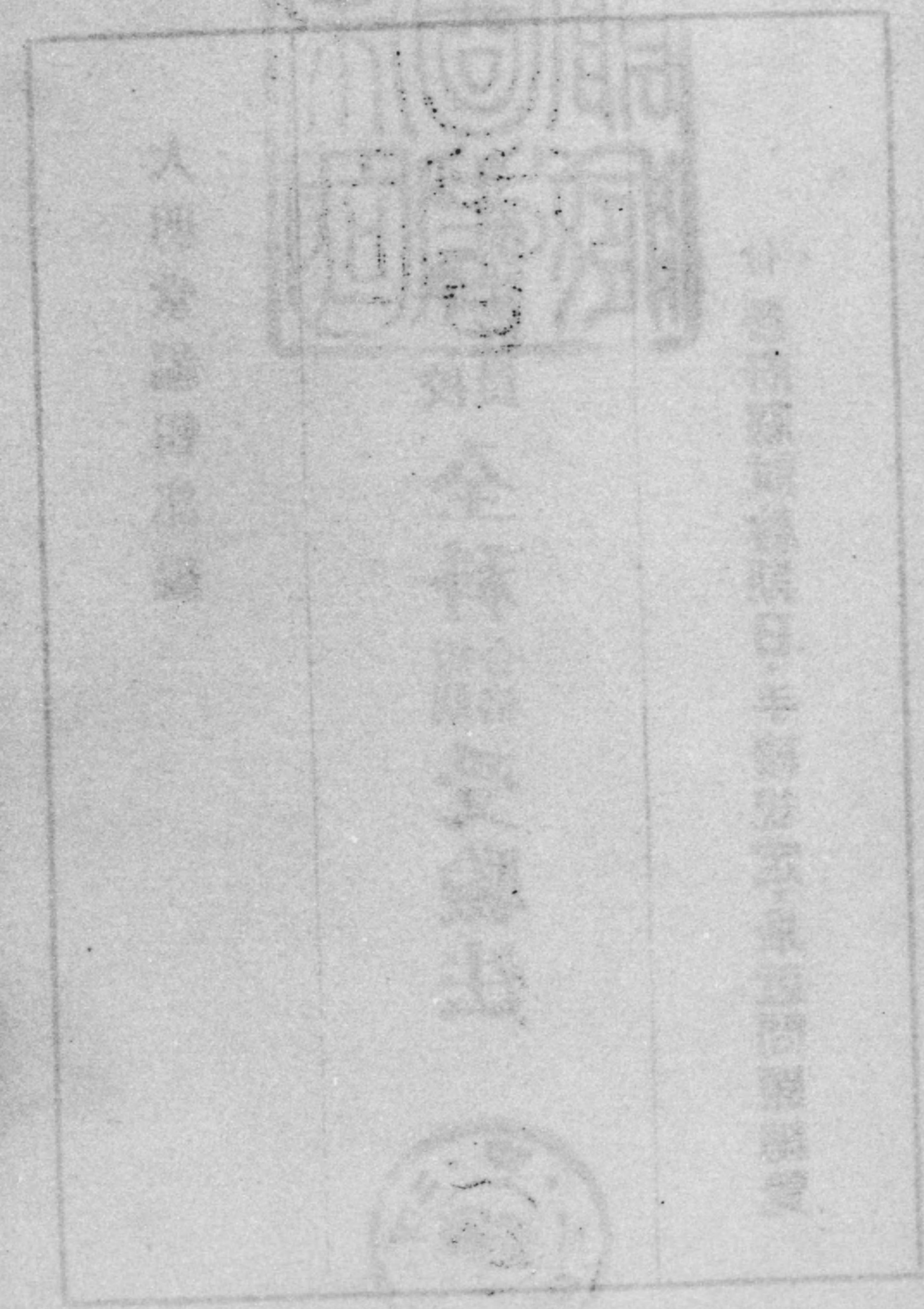
校員

全科

短期合格

受驗法

付各府縣試驗期日・手續規定・最近問題總覽



序

現今、經濟界の不況は各方面に禍を及ぼし、獨立自營をモットウとして、各檢定試験、登用採用試験等に依て立身就職の道を自ら開拓しやうとする獨學の士も、些か其の進路に影響を受けてゐるが、合格後の就職その他の點に於て、教員檢定試験は最も安全確固のものである。

此の點に想到し、弊堂は曩に「教員受験生」を發刊して一般是等受験生の爲に、指導誘發の勞を盡してゐるのであるが、こゝに大方の希望を容れて、小學校教員となるに最も捷徑とする所の、専科正教員各科受験について、一切を集輯解説して、茲に本書公刊の運びに至つた。

これに依て、斯道に志すものにとりては、唯一最良の指導書、羅針盤として、重きを成すことゝ信ずる。

昭和三年四月

大明堂主識ス

小學校專科正教員
全科短期合格
受驗法

附・各府縣試驗期日、手續規定、問題總覽

目次

一、小學校教員志望者へ……………	一
安固にして意義深き職業……………	一
小學教員の現在及び將來……………	二
小學校教員の種類……………	四
教員資格を得るには……………	五
檢定試験制度と獨學者……………	六

二、専科正教員について……………九

 専科正教員とは何か……………九

 小學教員資格獲得の最捷徑……………一〇

 文檢受験資格獲得の捷徑……………一一

 専科正教員の待遇……………一二

 教員免許狀の効力……………一三

三、教員檢定受験の手續……………一五

 受験資格……………一五

 試験科目と程度……………一六

 檢定試験の時期……………一六

 受験出願の手續……………一七

受験料及受験地……………二三

四、短期獨學準備の方法……………二三

- 二つの準備方法……………二三
- 三ヶ月準備合格法……………二四
- 六ヶ月準備合格法……………二五

五、各科受験準備の要領……………二九

- 農業科準備要點……………二九
- 商業科準備要項……………三四
- 體操科準備要領……………三九
- 音樂科準備要點……………四二
- 圖書科準備要項……………四五

英語科準備要領……………四七

手工工業科準備……………四九

裁縫科受験準備法……………五一

家事科準備要領……………五四

教育大要の準備要領……………五六

六、各科模範解答例……………六三

七、参考書について……………九五

参考書の選擇……………九五

重要参考書一覽……………九六

八、試験に際しての諸注意……………一〇三

試験前の注意……………一〇三

試験場に臨みて……………一〇四

答案は如何に作成すべきか……………一〇四

九、試験委員の談……………一〇八

小検希望の獨學者へ……………一〇八

十、合格成功者の談……………一二七

英語科合格記……………一二七

英語科受験記……………一二〇

英語科口述試験問答……………一二五

商業科にパスして……………一二八

商業科準備より合格まで……………一三四

農業科に合格の記……………一三九

農業科合格記……………一四五

體操科に合格する迄……………一五〇

音楽科受験記……………一五七

手工科受験準備と合格談……………一六一

圖畫科を突破するまで……………一六五

裁縫科檢定合格記……………一六九

裁縫科檢定受験記……………一七四

家事科に合格して……………一七六

十一、各府縣試験手續期日總覽……………一八五

十二、教員檢定に關する諸規程……………一九二

附錄 最近各府縣檢定試験問題……………自一七八至七九

—(目次終)—

小學校全科短期受驗法
專科正教員合格

大明堂編輯部編

一、小學校教員志望者へ

安固にして意義深き職業

近年經濟界の不況は社會各方面に影響して世間一般に不景氣を歎じ、一方各事業界の不振による會社商會等の緊縮に禍せられて、大學出身でさへも就職に困難を訴へてゐる折柄、獨り小學校教員のみは益々人員拂底を唱へられて、就職難の如きは毫も之れなく、實に安意なものである。

尙又物質的に之を見るも、現在に於ては准教員にして最下底三十圓、正教員の最高に至つては二百圓に上り、師範學校卒業後直ちに四十圓以上を得るのである。現今の一般社會の俸給狀態に比し

小學校教員志望者へ

て決して冷遇せられてゐるとは言へぬのであつて、近來年々優遇法が講じられてゐる傾向もあり、更に恩給制度を以て老後の憂も無い。

翻つて之を精神的方面から見れば、彼の天真爛漫なる可愛き少年少女を教養して行く楽しみは他の職業に比較して優るべく、又營々として日夜第二國民の教育に盡瘁しつゝあるを思ふ時、如何に教員てふ者が崇高なる職業であるかの感を深くするのである。

國家の興廢は教育の如何によると言はるゝ今日、やがて國家の中堅を爲すべき第二國民の養成を擔ふ教員の任務は實に重且つ大である。

斯く、物質的にも、精神的にも、國家的にも、獨學青年にとりて寔に、小學教員は好適の職業であると思はれる。

小學教員の現在及將來

前述せる所に依つて、小學教員が各方面より觀察して如何に惠まれてあるかは了解し得られたことと思はれるが、更に將來の點に惟を及ぼして見たい。統計の示す處によると、日本は年々七八十

萬の人口が増加しつゝあるといふ。此の人口増殖は畢竟小學兒童の増加を來し、延いて教員の要求となるのである。今統計の示す所によつて、年七十萬人の増加と例へ、一學級を五十人となし、之に一人の教員を當てれば一萬四千人の不足を示してゐる。然し、實際は教員間の死亡休職退職老朽淘汰等によつての不足を合すれば、之れ以上の不足數を示す譯である。

更に又義務教育の年限延長のことも、最早や時日の問題である。各府縣當局が競つて教員の養成補充に力を注いでゐるのも尤もであつて、若し之が實現せられた暁には其の人員の不足は思ひやられるものがあらう。

かくの如く、年と共に小學校教員の需要は多きを加へつゝある状態である。

一方待遇の點に至つても、某政黨の如きはその一大政策として義務教育費全額國庫負擔を提唱してゐる程であつて、此の政黨に於ては近き將來に於て政府に立てば、必ずや之が實施を爲すは明かである。之に依て小學教員の物質的に惠與せられる所の實に多大なのは當然で、以上のことより小學教員の將來前途は益々光明に照らされつゝあるのである。

小學教員の種類

小學校教員の資格は次の五種類に分れてゐる。

正教員

小學校本科正教員(本正)

尋常小學校本科正教員(尋正)

小學校専科正教員(專正)

准教員

小學校准教員(小准)

尋常小學校准教員(尋准)

小學校本科正教員は一般に師範學校卒業生の有する資格で現在では最上級である。これは尋常高等を通じて獨立して一學級を擔任するものである。

尋常小學校正教員は、前の「本正」と同じ職務に従事するのであるが、其の擔任は尋常科に限られてゐる。

小學校准教員は正教員を補助する、つまり尋常高等を通じて正教員補助の下に初めて學級擔任を

爲し得るものである。

尋常小學校准教員は前述「小准」と同様に、唯尋常科に限られてゐる。

専科正教員は、特殊の學科についてのみ「本正」と同資格を有する、之は後に詳細に述べてある。

而して此等の資格の中どれでも一つさへ持つてをれば小學校訓導又は准訓導といふ肩書が得られるのである。何の資格も無くて教員になつてをるものも居るが、それは訓導では無くて、所謂代用教員なのである。

教員資格を得るには

さて、小學校教員の資格、即ち教員免許狀を得るには如何なる方法に依るか、それには次の方法がある。

府縣立師範學校(本科一部又は二部)を卒業すること、

小學校教員養成所(又は講習所)を卒業すること、

檢定試験を受けて合格すること、

小學校教員志望者へ

而して、檢定は試験檢定と無試験檢定とに分れてゐるが無試験檢定は種々の條件があり、記述を省略する。

本書は實に此の試験檢定について、特に専科正教員試験について説述するが使命なのである。尙、他の各種教員受驗については、大明堂發行の「小學校各種教員獨學受驗法」を一讀すれば詳細を知り得る。

檢定試験制度と獨學者

教員檢定試験の制度は正規に學校を了へてゐない一般の獨學者の中より、正規の學校を卒業又は修了した者と同一資格の人を見え出す便宜の制度だと思ふ。即ち師範學校も卒業せず中學校も高等女學校も卒業せざる人々が小學校教員の資格を得る、即ち獨學研鑽に依つて社會的にも、經濟的にも教員たる地位を占め得ると同時に、國家といふ立場から觀ても、現在教員の不足に對して、其の不足を補ふ事が出来る譯で、寔に好都合のものである。

小學校教員檢定試験も國家の制度に基き初等教育界に優秀なる人材を求めんために施行してゐる

のである。假令實力は充分に具はつてゐても教員の免許狀を有せざるものは無資格教員として取扱はれ實力の有無に關せず有資格者はすべての方面に於て有利な地位を占めてゐる。加俸と云へ恩給と云へ、無資格教員は及ばないので勿論本俸も割合が悪い。茲に於てか形式などはどうでもよいと云ふものゝ實際生活の上にも大いに影響するからどうしても有資格にならなくてはならぬ。試験に合格しただけで一躍訓導として任用されたり、幾級も増俸されたり、方々より高級訓導に迎へられたりする。試験制度は不遇の人を救ひ實力ある人をより以上に認める機關となる。故に多くの教育者は試験の必要を叫び各人の能率をはかり人材を検する唯一の方法とせられてゐるのである。

試験檢定に合格した人は學力と云へ人物と云へ優秀な良教師が多いことを聞てゐるが、多數の受験者中から選り抜くのであるから然るべきことである。從來彼の人は何處を終へた人だなど其の人の出身學校に依つて其の人の價値を云爲する傾向があるが、其の人の學問の價値は實力の如何にあるので、出身學校に依るものでないことは云ふまでもないことである。それを檢定合格の教員だから頭が揚らぬと云ふべき性質のものでない。漸次檢定の道が開發せられ、之に重きを置く様になれば固より極く成績の良い人は少ないにしても、教育界の重鎮であり、一大の光明を見え出し得るの

である。

現に小學校の優良校長として全國に其の名の響いてゐる教員に檢定出身の人は少なくないのでこの縣にも檢定出身で良教師の名のある人の多いことは事實である。

實際獨學して檢定試験に應ずる爲めには随分骨の折れることと思ふ。強固なる意志と不斷の努力とがなければ到底出來ぬことである。勤務の餘暇に勉強して受驗すると云ふ志は誠に美しい嘆稱すべく同情に堪へぬ次第である。

學校萬能の迷夢は、今醒めつゝある。現時の社會は實力本位である。實力さへあれば學力如何は敢へて問ふ所ではない。

世の獨學者諸君、學校に入れぬといふ事を悲觀すべきでは無い。生くる路はいくらもある。まことに實力あるの士は學校系統を踏まずとも、檢定試験制度に依つて、堂々と社會に躍進出來得るのである。

吾人は就職の捷徑として、又獨學者の一登龍門として此の教員檢定の路に勇々しく邁進せられむことを希んで止まぬ。

二、専科正教員について

専科正教員とは何か

小學校教員に五種類あることは前に説いた。而して、小本正でも尋本正でも本科正教員の資格あるものは一人前の教員として、獨立して一つの學級を擔任するもので、行く／＼は校長にも成り得るのである。唯小本正は尋常科高等科を通じての正教員であり尋本正は尋常科だけの正教員であるといふ違ひがある。

准教員は小准でも尋准でも等しく正教員の補助者であつて、正教員補助の下にはじめて學級を擔任することの出來るものである。尋准は尋常科だけに適用する准教員である事は尋本正と同じである。

扱て、専科正教員といふのは前述の本科正教員や准教員が、凡ての學科に亘つて資格があるのと

違つて、特殊なる學科、例へば體操とか圖畫とか音樂とか裁縫とか家事とか農業とかいふ學科について小本正と同等の資格があるものである。従つて本科正教員や准教員の様に一學級を擔任する事は、原則としては出来ないことゝなつてゐる。

因に、現在の専科正教員の學科は、左の十科目に規定されてゐる。

音樂科、體操科、手工科、農業科、工業科、商業科、圖畫科、裁縫科、家事科、外國語(英語科)。

小學教員資格獲得の最捷徑

専科正教員は、獨學者として小學教員資格獲得への最捷徑であると云ひ得る。本正にしる、尋正にしる、又小准にしても、其の受驗科目の廣汎なるに比して、專正は唯一科目の準備で済むのであるから、可成り容易なものである。彼の檢定試験中の最低にあり、又最も容易とされてゐる所の尋准を受験するなら、寧ろ專正へ進むべきである、尋准に費す丈の勞力があれば、立派に專正にも合格出來得ると信するのである。況んや、前者の准教員であるに反して專正は正教員の肩書を得るに於てをやである。

短期の準備によつて、最も手取早く教員とならんと希望して居らるゝ獨學者受驗生は、先づ以て此の専科正教員を目指して進むが得策と思ふのである。

文檢受驗資格獲得の捷徑

尙又、專正は文檢、いはゆる中等教員檢定試験を受くる資格獲得への捷徑である。現在專正受驗者中には小學教員志望に止めずして、實に此の文檢への一段階として選んでゐる者が多いのである。

小學校教員中、文檢受驗資格を有するは、本正、尋正、專正、小准、の免許狀を有する者、(尋准を除く)であつて、小學教員より文檢への段階を踏むとすれば、第一に專正よりするがよく、又獨學者としては專檢合格の方法を経るもよいが、專檢準備に多大の勞力と時日を消費するよりも、此の專正よりすれば最も良策である。故に文檢に進出せんとするの士はよろしく專正よりすべし、よし不幸にして文檢に一度び失敗するも、小學教員として安意に職を得て捲土重來を期することも出來よう。

序に注意する事は、専科正教員は、文檢中の何科を問はず受驗し得るので、受驗の學科目は決して専正認定學科目に限られては居ないのである。

専科正教員の待遇

小學校専科正教員の俸給は小學校令施行規則にも明示されてある通り、左の如く定められてある。

専科		級
上	下	
百二十圓	百十圓	一級
百圓	九十圓	二級
八十圓	七十五圓	三級
七十圓	六十五圓	四級
六十圓	五十五圓	五級
五十圓	四十五圓	六級
四十圓	三十五圓	七級

昇給は大體に於て一ヶ年半に五圓位の割合で昇進して行くのである。

更に規程に依れば、専科正教員にして一級上俸を受け特に功勞ある者には百六十圓までも漸次増給することになつてゐる。

市町村立小學校教員加俸令第三條には「小學校教員にして五年以上同一府縣内の市町村立小學校に勤續し地方長官に於て成績佳良なりと認めたるものには年功加俸を給すとあり、之が専科正教員に在つては年額十二圓乃至二十四圓とし、年功加俸を受けた後勤續五年を加ふる毎に専科正教員は年額十二圓乃至十八圓を加ふることを得る」と定められてある。

其他一週三十二時間を越え教授を擔任する者は手當を給され、僻陬の學校に勤務する教員には特別加俸を支給し、又慰勞金も支給される。恩給は一年以上十五年未滿の退職者には一時恩給を、十五年以上勤續者は普通恩給を受けられるのであるから、他の會社や役所に勤めてゐるよりも待遇は遙かによいと思はれるのである。

教員免許狀の効力

小學校教員免許狀の効力は、以前は其の授與された府縣に限られてゐたので、若し他府縣に轉任

とか就職とかの場合には新たにその府縣で無試験檢定を出願して、其の府縣に適用される教員免許狀を貰はなければ有資格者として任用されなかつたものであつた。(例外として多年初等教育に功勞のあつたものは文部省より普通免許狀と云ふものを下附されてその普通免許狀が全國共通の免許狀であつた)が此の規程が改正されて現在は小學校教員免許狀や成績佳良證明書は全國を通じて有効となつたので何れの府縣に於ても就職も出來轉任も出來るので極めて便利になつてゐる。

三、教員檢定受験の手續

受験資格

教員檢定試験を受くるに就て、學歷の制限は勿論無く、全然無學歷の者でも受験出来る。但し

- 一、禁錮以上の刑に處せられたる者、
 - 二、破産者、
 - 三、教員免許狀奪奪の處分を受け三ヶ年以上を経過せざる者、
- 等は試験に應ずることを許されない。

又、年齢の制限もないから幾歳になつても受験出来る譯であり、身體検査等も割合に寛大で甚しき障害の無い限りは應試し得られるのである。

試験科目と程度

専科正教員檢定試験の科目は、音楽、體操、手工、農業、工業、商業、圖畫、外國語（英語）、家事、裁縫の中の一科目、若くは數科目である。依つて、自分の得意とするもの希望する科目を選択して受驗すればよい。而して各科目の程度は師範學校生徒に課する各科目の程度に準じて行ふ、即ち師範學校卒業程度に於て行ふのである。

又何れの科目にも「教育の大要」及び「受驗科目の教授法」が附帶して課される。

更に、専科正教員の試験は、修身、國語、算術の三科目に關し、普通の學力ある者と認められた者でなければならぬ。即ち大體に於て、高等小學校卒業者は此れを課されないが、尋常小學校卒業のみの者、全然無學歷の者には此の三科目も併せて課されるのである。

檢定試験の時期

試験の時期は小學校施行規則に「毎年少くとも一回之を行ふ」とある通り、各府縣に於て必ず一

回以上施行してゐる。時期は春若くは秋、年二回の府縣にては大概春秋の二期に施行する様である。現在に於ては、教員の不足に鑑みて、年二回の府縣が多い。正確の日は各府縣區々であるから、直接府縣の學務課へ問合せるか府縣の公報による公告によつて知るがよい。尙後章に便宜の爲め、各府縣、出願期試験期の總覽を掲出してあるから、ついで参考とせられ度い。

受驗出願の手續

受驗出願に際しての願書、履歷書等の書式は、各府縣の小學校令施行細則に定められ、試験告示の際に府縣公報に掲載される。而して、此の様式は府縣に依つて多少の相違がある様であるから、受驗者は受驗地のものを、確知して、之れに則つて提出するがよい。茲には参考として東京府に於ける規則及び書式を掲出して置かう。

東京府規則

一、檢定を受けむとする者は別記書式第一號書式の願書第二號書式の履歷書、戸籍抄本に左記事項に關する書類を添へ東京市在住者は現住の區役所、八王子在住者は市役所其の他に在りては直接府廳に差出すべし。

(一) 小學校令施行規則第百條に該當せざる旨の出願當時に於ける本籍市(東京市京都市大阪市は區)町村長の證明書

(二) 本科教員の試験檢定を受けむとする者にして小學校令施行規則第百十四條に依り他の道府縣に於て授與したる證明書を有する者に在りては前號書類の外尙右に關する當該道府縣の授與證明書

(三) 専科正教員の試験檢定を受けんとする者にして高等小學校を卒業したる者にありては當該小學校長の證明書、中學校高等女學校二年以上の修業者にありては當該學校長の修業證明書

(四) 手札形の寫眞(出願三ヶ月以内に脱帽にて撮影したるものにして裏面に撮影年月日本籍氏名生年月日を記載すべし)

一、檢定を出願する者は手数料として本科正教員は三圓、専科正教員は一科目毎に三圓、准教員

は二圓を納むべし。

書式第一號 (用紙美濃紙)

小學校教員試験檢定願

住所、族籍

小學校(專)科正教員

氏名

志望學科目

年月日生

右頭書の教員志願に付試験檢定相受度別紙履歷書戸籍抄本寫眞並證明書相添此段相願候也

右

年月日

氏名印

知事宛

教員檢定試験の手續

- 一、免除學科目は成績優良證明書記載學科目を受験細則のものに限り記載すべきこと。
- 二、卒業學校名は中學校、女學校及び中學と同等以上として文部大臣の認定したる學校を卒業したる者に限り記載のこと。

書式第二號 (用紙美濃紙)

履 歷 書

本籍地族籍 (誰子弟等)

住 所

(假名を附すべし)

氏 名

年 月 日 生

學 業

- 一年月日 何學校ニ入學何年月日何科卒業(卒業證明書寫別紙ノ通)
- 一年月日 何年月日マデ何處ニ於テ何科講習其證明狀ヲ受ク(證明狀寫別紙ノ通)
- 一年月日 何々科試驗檢定ヲ受ケ何々科合格(證明書寫別紙ノ通)

一年月日 (無)試驗檢定ニ依リ何免許狀ヲ受ク(免許狀寫別紙ノ通)

業 務

- 一年月日 何府縣何都市町村何々小學校准訓導(代用教員)ヲ命ズ何級何俸(何圓)給與何々勤務
- 一年月日 任何府縣何都市町村何々小學校訓導何級何俸何圓給與何々勤務
- 一年月日 休職ヲ命ズ(休職ノ事由、期間、俸給ノ給否ヲ記載スベシ)
- 一年月日 依願退職ヲ命ズ(願出ノ事由ヲ記スベシ)
- 賞 罰
- 一年月日 何處ニ於テ何々ニ付賞罰ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ク
- 身上異動
- 一年月日 復籍等ノ爲メ何府縣平民ヨリ何府縣士族トナル
- 一年月日 何年月日氏名何々ヲ何々ニ變更

右ノ通相違無之候

年 月 日

右

氏

名 印

(備考) 業務、賞罰、身上移動等ナキトキハ「無し」ト記スベシ

教員檢定受験の手續

受験料及受験地

検定受験料は府縣に依て相違してゐるが、大體に於て、一圓か三圓である。之れは後章の總覽の項を参照せられたい。

出願は自分の府縣は勿論、其他便宜の府縣へ出願して差支へないのであるから、自分の都合の良い府縣で受験するがよい、試験期日の重ならぬ限り二ヶ所でも三ヶ所でも受験が出来るのである。但し試験は必ず出願せる府縣に於て受験せねばならぬ規定である。

四、短期獨學準備の方法

二つの準備方法

受験準備について學科と日時との關係を考慮しての計畫の立て方に二つの方法がある。

其の第一法は、一日幾時間と決めて、何の科目は何時間、此の科は幾時間等とし、或る書籍は何日間に讀了する、依つて一日に何頁つゝ讀破して行く、と云ふ様な計畫法である。

又も一つの方法は、何日より何日の中に、いはゆる日數を決めて、一科目を終へる、次の何日間には何科目、その次は何をといふ風に、試験前、例へば三ヶ月なら之を適當に分割して學科に當てはめて準備の概要を終る、而して最後に並進的に此の全體を復習し、以て準備を完全にせんとするの法である。

此の二方法は何れが良きや、是非は仲々決定出来かねる問題である。各人に依り又科目に依り、相異なる事情があるからである。

茲には後の方法、即ち日數に據る方法としての三ヶ月六ヶ月準備合格法を述べることとする。

三ヶ月準備合格法

必勝的三ヶ月準備合格法として、最も効果ある勉強の仕方は、先づ三ヶ月を分つて、

- (一) 通讀期、
- (二) 精讀期、
- (三) 復習期、

の三段階とする。而して、通讀期は約二十日間を當て、此の日數間に各科の性質理論教育の作用等を收得する。暗記は餘り念頭に置かず（暗記のみに走るのは考へものである）唯一通りの概念知識を得るのである。

次は精讀期、此の期間は大きいに努力奮勵を爲して、すべてをマスターする最も大切なる期間であつて、教科書参考書にサイドラインを附すとか、又ノートを取りなどして、學科の理解を徹底せしめる。之れに約一ヶ月を當てるが至當で、此の期間は後に來る所の復習期の土臺を造るのであるか

ら、詳細に研究しなければならぬ。一字一句も忽せにせない底の力を注ぐ可きである。

斯くして全學科を征服し終へたなら、殘餘の約四十日の期間を利用して、復習期に當てるのである。而して此の四十日を最も効果ある五段に分つ、即ち、十日、十日、七日、七日、六日として、五回の復習を實行する。此の五回の讀破の中に不知不識に暗記が出來、完全に理解收得し、完全に實力の養成が出來上る譯である。一回の復習より二回、二回より三回と重ねるに従ひ、凡ての事項が腦裡に明晰に浮んで來る様になる。

尙、一日の時間の量は少くとも約三時間位とせねばならぬ。そして前二時間を主要科目に取り、後の一時間を教育學、教授法等に當てる。又實地のものには三十分乃至一時間を此の中に繰入れればよい。尤も實技を主とする學科に於ては前二時間を夫れに當てるべきであらう。

三ヶ月準備に依つて合格可能とされてゐる科は、商業、農業、家事、手工等で、就中、商業科などは、二ヶ月準備合格を主張する者があり、又實際かゝる短期準備に依つて合格した實例も多々ある。

最後に注意すべきことは、短期準備については途中中絶する事は禁物で、日限が少く限られてあ

るのだから、最も有効に時間の利用に重きを置かねばならぬのである。

六ヶ月準備合格法

合格を策し、必勝を期する戦術たる六ヶ月準備法としては、之れを次の如き期間に分ち、實行計畫を立て、勉強を爲すがよい。

- 第一期 通讀期
- 第二期 精讀期
- 第三期 實地練習其他
- 第四期 總復習
- 第五期 答案練習、總整理

而して第一期の通讀期に於ては、各科の性質、理論の大要、その他を略讀に依て概觀的に知るのである。此の期には凡てを覚え込まふとすることはせず一通りの概念を得て、次の精讀期に對する準備とするのである。日数は約一ヶ月を宛てる。又通讀中に要點をノートに採つて置くも良い。

精讀期は約二ヶ月を取る、本準備たる最も大事な時期で、基礎を確實に築くことに凡てを集中し勝負は此の時期に決すると覺悟を決めてかゝらねばならぬ。難解の點はノートに取るもよし、必要事項を系統を立て、摘録するとか、一も忽かせにせず、あらゆる力を注いで學科の理解把握を確固にしなければならぬ。暗記を要する處は又此の期に於てするがよい。若し此の精讀期に於て、あやふやにするとか基礎を確實にせずに理解が足りない、次に來る處の實地練習や復習が役立たなくなる。總復習に於て頭腦を整理し準備を完全にするには、何うしても此の精讀期に全力を注いでやらねばならない。

第三期の實地練習期は、前に爲した理論に基いてやらねばならぬ。技能學科に於ては殊に大切であつて、音樂科や圖畫科、體操科、手工科等の實地を充分に爲して置くのは此の期に於てする。日数は約一ヶ月をとればよいと思ふ。

第四期は總復習である。約四十日を當て、之れを四分し、一回十日づゝとして四回の復習を爲す。ノートをとつたものは、其れに依てもよし、とにかく實力養成は此の復習期により、完全に出來上るのである。而して此の復習は唯漫然と爲すよりも、統一を立て、整理することも念頭に置か

ねばならぬ。

扱て最後の二十日間は、是れを答案練習、つまり答案作成の練習に當てるとよい、既往の答案集を繙くとか、模擬問題に解答を與へて見るとか、各府縣の出題傾向を研究するとかするのである。此等の方法は受験には非常に良い効果を齎すもので、合格を可能ならしむるには之を爲して置くがよいと思ふ。試験場に臨んで實際に打つつかつた時に、此の答案作成に馴れてゐると凡てに好都合である。

小專正檢定に於て技能に重きをおく科などは、此の六ヶ月方法を採るがよく、一日の時間の程度は人によつて相違るから各自適當に按排すべきである。

五、各科受験準備の要領

農業科準備要點

(一) 眞面目なる態度で

何科に於てもそうであるが、凡そ受験生は極く眞面目に勉強を積まねばならぬ。僥倖心を捨て、徹底的の準備をなし、首尾一貫、何處を出されやうと間違つかぬ用意が欲しい。稍々もすると中には既往の試験問題などを一見して、多く課されてゐるものや、出さうな個所を目當に勉強して、萬一をたのみにするなどの危ふけな遣り方の者などがある。尙又、受験の動機がひやかし半分、一場踏みのつもりや、様子見に受けて見ようなどの者に至つては沙汰の限りで、是等の受験法は絶対に排斥すべきである。受験生はどこ迄も眞面目な態度で準備を進め、榮冠を獲得すべきを念とせね

ばならぬ。

(二) 指定参考書を熟讀せよ

扱て、農業科準備については、指定参考書を熟讀することが肝要であるは言ふを俟たない、之れを二三度通讀すれば、詳細の事項は記憶出來難いにしても、大體の骨子は判る。所が山をかけて通讀してゐない人は或部分は特に精細を極めてゐるが、他の部分は全く常識外れであつて、焼畑式を土地改良法と心得たり、硫酸アンモニヤを硝酸態窒素の中に入れてたり、甚だしきは「メンデリズム」の家畜の品種と見たりするなどの、大變な誤りを來す虞れがある。

何と言つても参考書の精讀は最も大切なることで、殊に挿畫をも疎んじないで、よく見て置く必要がある。挿畫は無意味に入れて置くものではない、早い話がピクノメートルは見たことの無い人でも、土壤學の挿畫によつて推定が出来る。土壤淘汰器でも亦然りである。家畜の圖や大根の寫眞などで品種の概略は見當のつくものである。

も一つの必要は、小學校用の教科書を通讀すべきことである。詳しく學んで其のエッセンスとも

見るべき小學校の教科を見る時は、實にうまく如何に要領よく書いてあるかと知り得る。其の要領の呑み込み理解が必要である。

(三) 教育學の参考書を疎にするな

専科教員は専門の技術と知識を有するばかりではいけない、それらを人に傳達する方法を學ばねばならぬ。殊に小學校の教育は農業でも手工でも單なる技術教育ではない、かゝる職業科を通じて人格の陶冶を計るのである。職業を手段とするに過ぎない、故に教育的でなければならぬ。我々は修養に依つて内容の充實を計ると共に、それを傳達する方法を研究しなくてはならぬ。それは即ち教育學である。自分の知つてゐることを全部教へようとしたり、兒童の心身の發達の程度も考へず、にむやみに六ヶしい事を教へたがる者などは、これは却つて農業に對する趣味や理解を妨げるものである。實習を課するにしても、只働かす丈けで眞に作業の意義や教育的價值、目的を考へないでやるやうなことがあつては是亦よろしくない。教育學の参考書をしつかり讀むことの肝要なるは是等の點からである。

(四) 教案の書き方に工夫せよ

教案の書方も大切である。中には項目だけ並べる者や、教案の形式だけ書いて、内容を全く省く者、例へば教材、教具、目的、豫備、提示、應用などに各何分と、時間數を入れたゞけ書く者などがある。

教案は或る教材について、主眼點は何處でどんな内容を如何なる順序で、或限られた時間内に展開して行くかを知る爲めに試問するので、項目などを尋ねてゐるのでは無い。勿論教案としての一般的形式は具へねばならぬが、内容の相當豊富なことをよしとする。之れが爲めに必ず小學校の教科書を読む必要があるのである。それには教ふべき内容の標準はうまく盛られてゐるからである。

某試験官の話に依ると答案の中には教案としての體を全然なしてゐないものがあるとのことであるが、それは實際に小學校について一度教を受ける必要がある。又項目を列記しないで、だら／＼と作文の様に書く人もあるが、之れは極めて拙い方法である。少くとも讀む人に自分の言はんと欲することをよく了解せしめる工夫を取らねばならぬ。これは一般の答案の書き方に關することであ

る。なるべく表解、圖解にすることが短刀直入、讀む人に迫ることが出来る。又圖表に纏め得る人はよく理解の出來た人である。理解の出來ない人は纏める能力もないものである。

(五) 實物は卑近な物から

實物鑑定などは内容雜多である。作物、種子、肥料、土壤、昆虫、病害、實驗裝置、實驗用具、圖表などから卑近なものを選んで課される様だ。所が實際受驗者中には、ウンカと螟虫を取り違へたり、一文字セセリを知らなかつたり、稻熱病や、葡萄のベト病、大麥の堅黑穗病を全く分らなかつたり、牛蒡や胡蘿蔔の種子を知らなかつたり、極く普通のことを調べてゐない。又石灰窒素や過燐酸石灰を取り違へる人などは實物を見たことのない證據、甚だしいのは硫酸銅とか硫黃華などを試験場で始めて知る者もあると云ふに至つては、かゝる人が農業専門の先生を志望とは無謀と評されても致し方がない。

實驗用具の使用法、農具の使用法も一二度試して置くがよい、コルクのはめ方、洗滌瓶での洗ひ方、濾紙の折方、剪定鋏の握り方など一寸した練習を要するものは平素氣をつけて一度やつて置く

ことが必要である。

是等のことは地方によつては中々六ヶしいとも思はれるが、努めて參觀もし、講習會等があれば成る可く出席して置くがよい。

要するに眞面目に、基幹となるべき参考書をよく讀破して居れば合格點は得られると思ふ。それ以上の成績は實際上に獲得した知識によることも多い。

茲に戒しむ可きは所謂山師的の受験を排斥すべきで、十分の實力を築いて後受験に臨まるゝことにしたいと思ふ。

商業科準備要項

(一) 研究要項

商業科の準備研究要項としては、先づ定評ある、参考書によつてすればよい。教授法としても唯一科、教育學も大要である。簿記學は一衣造りは出来ない學科である。商業學は、是れが範圍は商

業の主體、客體、用具の總論と賣買論、倉庫論、外國貿易論、取引所論、銀行論、鐵道論、海運論、保險論等で、小專正商科では奥行の深い研究は希望されてゐない。一般的であつて主として小學校教授細目にある事項、小賣商、卸商で之れに伴ふ機關業である。故に商業學校の教科書でも事足りる、然し山かけの準備、投機的準備法を取つてはならぬのである。

(二) 準備要領と着眼點

次に小專正商の四科目についての準備要領と着眼點を列記する。

教育大要

既往の問題から推察すると、割合に訓練論から出題される様である。着眼點としては、一般的で教育の目的、教授、養護、訓練の性質と目的などで、割合に小問題が無い、これは次項の出題傾向で詳しく述べる。

一般に小專正は、その受験科目に關する事項の研究が必要である。

教授法

教授法は出題される事は勿論であるが、此の研究も僅かなもので大なる努力も要らない。たゞ教授案の立て方を研究せねばならぬ。是非教案は作ることを練習すべきである。

簿記學

簿記學の要領は二つある。一つは理論的研究、一は數學的研究である。兩者共に重要で、前者は例へば「簿記の意義」とか「××の法則」とか云ふ事項である。後者は或る一定の問題に依り記帳するので樂なことであらう。要するに簿記の着眼點は仕譯であつて、完全な仕譯が出来れば充分である。尙理論は出題傾向に詳説しよう。

商事要項

此れは次の出題傾向に依つて、要領も着眼點も了解出来ると思ふから省略することとする。

(三) 出題の傾向

以下列記する出題傾向は、最近二三年間の各府縣で必ず二三回繰返された問題である。これに依つて各自準備の上に得る所多いことゝ信ずる。

商業要項の問題

商業の意義、個人商人の長所、短所、匿名組合の組織、會社之が種類、無限責任、有限責任、法人、取締役監査役、商業使用人、支配人、本位貨幣、補助貨幣、日本銀行兌換券發行制度、金融の緩漫と逼迫、約束手形、爲替手形、小切手、横線小切手、裏書の種類、擔保の請求權、拒絶證書、手形の償還手續、商品の種類、有價證券、登記と登録、商標に商號、商業會議所、興信所、共同組合、手形交換所、注文狀の製作、品質の鑑定、仕入の方法、賣價の算定、委託賣買、試算賣上書、託送の手續と書式、保證狀、爲替の意義、爲替貯金、爲替取組の手續と書式、保管倉庫の種類、保税倉庫の効用、倉庫證券、生産原地證明書、輸入手續、通關手續、税關、關稅と種類、假置場、戻稅、交附金、投機取引の効益、證據金の種類、帳入値段、信託業務銀行の主義、貸出の注意、コイン、コルレス約定、手形の割引、信用狀、爲替相場、爲替の逆順、廣軌鐵道、登簿噸數、回漕間屋、船荷證券、赤荷證券、共同海損、船積差圖書、保險の意義、損害保險、共同保險、信用保險、相互保險、營業保險、被保險利益、再保險、簡易保險、海上保險、委託保險の効用、等である。

簿記學の問題

各科受驗準備の要領

簿記學の出題の傾向は、仕譯である、檢定の多くは仕譯にあるのである。就中手形の裏書、讓渡、償還義務の仕譯が最も多いのであるから、簿記は仕譯が充分出來得れば小專商には大丈夫である。理論は簿記の意義、財産の種類、取引の意義、帳簿の意義、主要簿補助帳簿、カード式、單式の帳簿組織、複式の原理、勘定科目、勘定口座、仕譯の法則、帳簿組織、仕譯帳の性質、元帳の特徴、複式と單式の比較等である。

教育學の問題

教育學は小專正は主として目的論と訓練論から出題され、其他は教授論が最も多いが、就中商業科に伴う研究側面は前記の訓練論である。教育の目的、教育の一般的目的、實際の目的、教育の意義、教授の目的と必要學習作用、教授の段階、單元、様式、訓練價值、遊戲の價值、個性の觀察等はよく出される問題である。

教授法の問題

教授法は範圍が狭いから、目的と教材選擇の準備配列一般の注意位である。唯教授案の製作が出るが、是れは製作が中々困難なものであるから常に練習されたい。

扱て一般的から傾向を見ると必ず比較する問題が近頃多くなつた様である。例へば公債證券と株券の差異、船積證券と船荷證券の差異等である。も一つは商業科は書式、書類に主きを置く「××

の手續に必要な書式を挙げよ」又は「書類を指摘すべし」とよく出る。此の邊に注意され度い。尙今後商業科の受験生諸君は出來得ることなれば商業通論經濟原論の参考書も一度読んで置くことよ、又小學校用商業教科書も研究を勵むと非常に受験に効果のあるものである。

體操科準備要領

(一) 獨習の方法

體操科の試験を受けるには、體操、教練及競技遊戲の全般に亘り、文部省より發布の學校體操教授要目に擧げてある各運動の要領を人について學ぶか、又は参考書等に依つて、能く會得し正確に實演し得る様に練習して置く必要がある。由來此の體操を獨習することは他學科を獨習するよりは遙かに一層の困難を伴ふものである。然らば如何なる方法に由つて之れを爲すか、以下其の要領を説かう。

(二) 理論と實地

理論と實地の實習とは併行して進まねばならぬ。實地(實科)は即ち心身陶冶の目的の下に實施せらるゝ手段であり方便である。技能技術に屬する身體修練に外ならぬ。而も教授とか指導の大部分は此の實科の方面にあるのであるから、十分に其の技能を研究して置かねばならぬ。

理論を研究する事は、要するに實科の内容に通じ、その價値を知り、實科の運用に熟達せんが爲の過程である。即ち實際を主とした理論なるものが先づ以て研究され可きものである。

(三) 練習をするには

練習は理窟ではない、身體の活動である。正確な理解と識見との上に、しつかりした練習過程を漸次に積んで行かねばならぬ。而して運動練習の獨習の困難は前述した通り。そこで練習にはリーダーを得る。若くは矯正者批評者を得る事が必要となつて来る。常に人に見て矯正して貰ふことが肝要である。最初には幫助者が無ければ行へぬ運動もあり、又一人では實習するに張合の無いもの

もある。其の爲には講習會、練習會等には出来る限り出席して、練習結果の向上、即ち技の上達を計らねばならぬ。特に身體練習は其練習回数を多くして、同一教材でも何回も繰返して完全に體得する様にする。更に其道について造詣の深い者に質すか亦他の實際状況を見學するも有利な方法である。器械設備の完全な學校に於て、肋木、腰掛、横木、鐵棒、平均臺、跳箱バック、マット等を用ひて行ふ運動には殊に習熟しておかれない。中には之等の器械を利用する運動は全く習はずして受驗し、バックから逆に落ちて試験委員の膽を寒からしめ、銃を倒に擔つて吹き出させる様な無謀の人もあるのである。

教練は小學校本科正教員、體操科本科正教員は何れも孰れも孰れも習得しておかねばならぬ。歩兵操典にある各個教練の動作は正確に出來、中隊教練までは行ひ得る様に練習しておかねばならぬ。其他陣中要務令、歩兵射撃教範は研究しておかねばならぬ。

遊戯及競技も要目に擧げてあるものは全部行ひ得る様にし、殊に走技、跳技、投技に熟練しておかねばならぬ、それにはこれも砲丸投、圓盤投、槍投、幅跳、高跳、棒高跳等の設備ある場所で稽古しなければならぬ。

(四) 教授法のこと

教授法(指導法)も研究が大切である。個々の教材について、夫々教授順序、要領方法等を研究して置かねばならぬ。受驗場で同じ受驗生を生徒として、或る問題が課される、例へば「直立伏臥を教授せよ」と云ふ問題に對して、直ちに説明が出来(目的や要領)の示唆を行ひ、練習を施すことが出来ねばならない。即ち此の教授法の問題は、理論と實際との研究の結果を、短時間にしかも直接に發表する所の重大なる考査方法である事を考へ、充分の用意が肝要である。

音楽科準備要點

或る試験委員の談によると、音楽科受驗生は音楽専科といふことの爲めか、一般に唱歌、樂器即ち技術の方面のみを重視し、教育教授法といふ課目を輕視する傾向があると云ふ。之は大なる誤りで、苟も教員となり兒童教育の重任に當らんとする以上は、教育學、心理學の大體殊に唱歌教授法的一般を知り、其の適用應用を心得て置くといふことは必然のことであると思ふ。所が教育や教授法の

問題は参考書を一通讀んで居れば容易に答へ得るものであるのに、答案の中には全く的外れな出鱈目の答が多くあると云ふことである。之は音楽専科であるから技術さへ相當に出来ればよい位の考で、教育や教授法の試験準備を等閑に附して受驗する故であると思ふ。之は心得違ひの甚だしきもので、將來受驗希望の人は参考書等について、充分此の方面の學課目を研究して置くことを忘れてはならぬ。たとへ技術は良好でも教育教授法が不成績では合格は覺束無い。

樂典も、参考書を初め樂典教科書には必ず書かれてあるのに、往々問題悉く不能の人を見受けらる。是れは書物の丸讀記は避けねばならぬ。樂典に依つて收得した事は樂譜と對照し、又はオルガンについて實習して見ねば駄目である。例へば長音階と短音階の相違などは、いくら樂典でかうであると知つてゐても、實習して見ぬと實地試験に不覺を取るから常に對照して實習して置くが必要である。

要するに音楽科教員は小學校の唱歌教授を専門とするものなのであるから、一般的の樂典や和聲學の初歩位は充分研究して貰ひ度いと思ふ。

オルガンと練習法

オルガンは一寸器用なものなら大概の者は弾けると考へられる。そこで組織的に最初からやらなくても良い者は、先づハ調音階の右手練習から初める、次に左手練習をやる、次に両手練習をやる更にト調、ヘ調、ニ調、變ロ調、イ長調、變ホ調を練習する。尋常科生徒に教授する唱歌の調子は右の範圍である。そして實地に音階を弾かされるのは大抵ト、ハ、ニ、ヘ、位であるから之等に力を注ぐこと、又進行曲や敬禮合圖は必ずやつて置かねばならぬ。進行曲は幾多あるが、一つ丈を充分練習して置けばよい、然し理想としては可成多方面に知つておくが好都合である。

扱てオルガンの實習法であるが、それに先立つて讀譜を充分やらねばならぬ。試験は本譜で行はれるのであるから、何調を出されても直ちに譜が讀める様にして置かねばならぬ。それには次の方法が尤もよい。

- 一、主調音(各調の下)が譜表の第何線にあるかと云ふ事を充分に記憶する。
- 二、唱歌集について各調別に讀譜の練習をなすこと。即ちト調ならト調について、尋一からの教

材を充分練習し、之が終へればニ調、次にヘ調といふ如く進んで行く、實習として尋一、二の教材などは簡單であるから、一回位の練習、順次高學年に従ひ四五回の練習とする。

教授法等は参考書に依て、又小學校等にて親しく教へを請へば最も効果あると思ふ。

圖畫科準備要項

圖畫科も體操や音樂科の如くに技能の方面を確實にして置かねばならぬ學科である。理論も一通りは必要ではあるが、此の理論と平行して實技を充分にせねばならぬ。以下夫等の各要領を述べることにする。

寫生畫。寫生は不斷に練習する。凡て圖畫は練習を最も重んじて、常に之を繰返して實技を練ることは勿論であるが、寫生に於ては殊に其の上達は不斷の努力に俟つ事が多い。先づ容易なるもの、手近のものより順次複雑なるものに及ぶ、果物、器物等靜物の寫生などをやり、形の正確、光線の具合、輪廓と明暗、其の物の持つ特色を明瞭に寫し出すことに骨折らねばならぬ。

次に靜物より風景に移る、圖面への描出について特に注意を要する。即ち位置である。色彩も、

單調に失してはならぬ。答案の中には、形ばかりに骨折つて、單調な色を塗りつけて置くものがあると云ふが、形と色彩と相俟たねば完全とは云へない。

考案畫。即ち圖案が主である。之れは花鳥、或は蝶とか虫類などを模様化するのであつて、單模様より、一方連續模様へ、次に四方連續模様へと順に進めて行くも良い方法である。更に平面圖案より立體圖案の研究へ進める。之れも常に自分で工夫考案してやつて見るがよい。

水彩畫。クレオン畫も大切である。出來得ればバステルもやつて置くがよい。練習に依つて充分の技能を練る必要がある。尙ほ、レットル、ポスターなどの研究も一通りやつて置かれない。

用器畫は、先づ簡單なる幾何畫法、透視畫、透影畫より、器物の工作圖等を練習する、繪の比較的拙い人は用器畫の方で、よい點を占める様に努めねばならぬ。是れは参考書をしつかり精讀して實技と理論とを充分になして置かれない。

一般に圖畫の理論としては、輪廓法、描線法、位置法、遠近法、陰影法、色彩法、圖案法、及び日本繪畫史の大要等を知つて置くことが肝要である。

要するに、練習を充分爲し、學校の先生、或は先輩に批評指導して貰ふと大變効果がある。又は

受験生同志研究し合ふもよい方法と思ふ。

英語科準備要領

英語といふと一科目の様にも考へられるが之れを別けて見ると英文和譯、和文英譯、英文法、書取、會話、發音等で、此各方面から試験されるものであるから其の範圍が却々廣いのである。

英語科試験委員の話に依ると獨學者は一方に偏り勝ちである、爲めにパスしないといふ事だ、例へば英文和譯と書取が出來て、英文法と會話が出來なかつたりする。是れは受験者として尤も損なことだ、各々並行して準備を進める必要がある。以下準備について注意要項を述べて見よう。

英文和譯。英文和譯準備法としては、指定参考書、教科書を幾回となく、精讀すること、之れさへ十分に出來ればよい。直讀直解で讀んで直に意味が通じると讀むべきならなければならぬ。文の構成脈絡が十二分に理解出來てゐないと答案を書く場合にミスリとした文が續れない。又、單語を記憶する、譯讀の力を養ひ、單語の智識を豊富にして置かねばならぬ。而して、随時に英文の新聞雜誌等も讀んで見るがよい、是れも大層力になる。

和文英譯。先づ文法の基礎知識を確實に把握して置く。單語の羅列では文にならない。日本語をよく吟味してその意を平易な英文に綴る事が必要である。獨學者は一般に一寸した事で失敗し勝てある。地名に定冠詞を附したり、不定冠詞の \cdot を脱かして見たりする。これは一例であるが、こうした根本的知識は確實に習得しなければならぬ。又簡単な日常語の學習を怠らずにやると、例へば「今は何時ですか」とか「十時二十分です」とか「漸く汽車に間に合いました」とか「乗り遅れました」程度の和文英譯が出来ない者が多い。充分注意すべきである。

文法は参考書で充分やれば、それで事足りると思ふ。参考書は定評あるものを選ぶがよい。

書取は、單語の綴方を正確に覺ゆる事、相當の速さで筆記し得る様友人と互に讀み合ひ練習すると効果がある。然し大體に於て譯讀の練習を大いにヤレば自然書取は自ら出来る様になるものである。會話は、獨學者の困難とするところで、出来れば達人について練習するがよい、理想としては外人に直接手ほどきをして貰ふと充分である、アクセントは大に正確に覚え込んで置く必要がある。

實地のことは、附近の小學校へ行つて知人の教師に批評を受けるか、又は教授様式を參觀するのが捷徑である。英語教授法の参考者は、脇屋氏の「外國語の學習と教授」竹氏の「外國語教授法」な

どがある。

教授案も書かされるから、書き方を研究練習して置かれるがよい。

扱て一般に英語に於て實力を涵養せんとするには練習が第一である。多讀と精讀を併せて行ふ事が最も必要である。語學の習得は模倣によるのである。理窟ではいけない。外國語に馴れるには成るべく多く外國語に接する事を必要とする、不斷に外國語に接するとは外國語習得の秘訣である。日々英語に親しむ、一日僅かに二三十分でもよいから、毎日缺かさず英語に接することが肝要である。

受験生は又、時々先生なり先輩なりから問題を出して貰つて實力を驗すとか答案を認める練習をして見るがよい。是に依て得る所は非常に大なるものがある。

手工・工業科準備

小學校専科の手工、工學科教員は特に各種の技能に圓滿なる實力を必要とするので、受験者も亦格別の研究に俟たねばならぬ。而して、是れが手取早い準備としては、各自が母校の先輩に知己が

あつて、其指導を得れば好都合である。一體全然獨學でやる所の志望者は、その目標には目差してゐても、薄暗の中を辿る様で、其の自習行動に我乍ら飽足ら無く感ずるものである。實際に自作自評といふ事は困難でもあり、或る弊に陥り易い。

扱て先づ受驗者は、(一)材料工具を充分用意し、(二)相當なる設備をし、(三)指導者を求め、此の三項目を以て豫定を立て、實習に取りかゝるべきである。特に手工科は木工作業を主要とするもの故家庭に於ても、努めて實技の練習を怠つてはならぬ。参考書中の教材は悉く實習して置くがよい、粘土細工の練習は勿論のこと、製圖等も課す縣が見える様であるから、之れも相當研究し、簡單なる工作圖などを知つて置かれたい。

理論としては是亦大切で、工具の使用法や、工作法、木工金工具の使用法、金屬及木材の特質及用途など殊に然りである。

教授法は最寄の小學校の教師についてするか授業參觀などが効果があるが、此の参考書としては「手工教材及教授法」など定評ある書である。

尙、別法としては、學校短期勉學に依るもよい。尤も之れは主なる都市でなければ出來難いこと

であるが、工藝學校とか工手學校、工學校、商工學校、工業學校等に入學して短期教授をうけて受驗準備をするのである。凡て學校は工具が揃つてゐるから、家庭に於て一々取揃へる煩雜さが要らなくて比較的經濟な方法であると思ふ。

裁縫科受驗準備法

(一) 準備に際しての注意

裁縫科の教師を需むるに先年頃までは、技能科なるが故に、技術さへよければ宜しいと云つた様に標準も低く要求も餘り難しい條件もなかつたのであるが、現在では標準が高くなつて技能に優れてゐることは勿論、頭腦の方面も相當に學力常識も相當に備へてゐる者を望んでゐる。裁縫科受驗者は先づ此の點に注意を要する。そして今日の裁縫科の教師として立つ以上は、矢張り教授の方法に於ても研究工夫を必要とし、之を要約すると(一)優れた技術を持ち、(二)知識的方面でも相當の素養を有し、(三)教授の方法をも研究し、(四)而も時代の要求に應じ得る丈に常に研究して已まな

い熟と力とを有する事が大切である。

(二) 普通學の素養を充分に

裁縫専科受驗生の成績について、一試験委員の談に依ると、一般に學力の不十分な事と其の實地の拙いのが目立つてゐる。又、一般に普通學の素養が足り無い、筆答などでは數學の力の不足は著しい。式の立て方が成つてゐない、算術の式になつてゐない、符號の付方や括弧の使い方によつて全然意味を爲さない様なものがざらにある。實物を裁たせるのでないから其の圖や積り方の式並に其の計算の結果と云ふものは採點の主要條件であるのに夫れが紙上であり、且縮小圖である爲に寸法などが誠に非常識なものが多く見える。といふことである。餘程注意しないと思はぬ失敗を知らずに敢へてする事があるものである。

要するに筆答の成績に依ると、數學、國語の力の不足と其勉強準備の仕方が精密でなからうと思はれる様に疎雑であるといふ。即ち裁縫なるが故に裁縫のみを準備しては合格は望めない、基礎學の力をつけてかゝらなければならぬ。是れが不十分では、教師として兒童の上に立つて裁方や縫方

の數理的關係の指導を成すことが出来ないであらう。

世間にはまだ裁縫は技術さへ宜しければと云ふ考へを持つてゐる者があつて、少し仕事が上手だと裁縫の先生にと考へてゐる人があるが、斯う云ふ時代はも早や過去のことである。

繰返して云ふが、充分普通學の素養に心掛けて確實に習得した處の知識を明確に記述して答案を通じて其人の性格までを想はしむる様な注意をされたいものである。

(三) 實地について

裁縫科に於て、技術は最も大切なる條件であることは勿論である。又特に教師の優れた示範を大切と思ふ、自分の腕に自信がないと授業が空論的になつて了ふ、即ち實地に對して望むならば、手ぎれいに、そして與へられた時間内に仕上げる様、日頃から練習して置く必要がある。

某試験委員の話に、「理論も實地も採點してみると、此の理論と實地とが並行した出來榮えが少くて、何れかの一方が非常に劣る、即ち教員としての標準から見ても甚だしく拙い、成績は一方が如何に優れてゐても、之は不合格に取り扱はねばならない。而もかゝる場合が非常に多い」と。

以上の事よりして、準備の場合にも、矢張り餘りに實地に、或は理論に偏せず、兩者並行して準備する事が非常に大切となる。

教授法も充分慎重に準備して置くことは勿論であるが、これに就ては實際教壇に立つ事に経験なき方は實際小學校の授業などを參觀して其の方面の常識を養つて置くことは良い方法である。尙又裁縫教師について親しく指導をうけて批評矯正を請ふ様にすれば更に効果があると信じる。

家事科準備要領

家事科は研究範圍が中々複雑である。衣、食、住のすべてに亘つて居る。而して、是等を如何に處理して行くべきかを學問的に研究して行くので、獨習に困難な實技の方面も可成り多く含まれてゐる。

人によつて家事科とは衣服や食物の如きものゝみを取扱ふものと思ふが、物的方面ばかりではいかぬ。矢張り基礎知識が必要である。此の基礎知識のこと、常識のことは裁縫の項でも述べた所であるが、家事科の準備者も、基礎知識を豊富にして置かねばならぬ。理科の智識が必要である、科

學的素養も無ければいかぬ。更に數學の力をも備へて置かねばならぬ。今後の受驗者は此等の點に充分に注意をされたいものである。

元來此の家事は、女子が日常爲しつゝある事それ事態が、すべて受驗の上に役立つのである。食物の調理、衣服の仕末、育児、看護等と皆縁の深いものばかりである。故に、此の日常爲しつゝある事に理論を結び付けて研究すれば大いに効果があるわけである。

参考書は精讀し、諸記するも一の方法と思ふ。又、新刊の婦人雜誌新聞の家庭欄等は見逃がさず讀んで置く、此等の記事は、大抵新しき方法や新発見や家政一般についての新知識が掲載されて居るものであるから、獨學者の爲めには得る處多い。更に、生活改善展覽會、育児、衛生等の展覽會などは出来る限り見物して見聞を廣めて置くがよい。

實習については、衣服にしろ料理にしろ参考書等に頼つて自分の家庭内で出来ると思ふ、講習會などに出席出来れば更によい方法である。料理などは和洋兩つ乍ら知つて置く必要がある。看護についての知識は、看護婦にでも教へて貰へればよいが是れも一寸困難である。

要するに、衣服についての一般知識、家具の取扱其他、食物調理、食料品の智識、育児、衛生、

看護法、洗濯法、しみ抜き、住宅についての一般智識等を充分にして置くべきである。

教授法等についても参考書を精讀すべきは勿論、時々學校の實際授業を參觀させて貰ふなどすれば効果が多い。

新案についても、出題されるから十二分に研究して置くことを忘れてはならぬ。

教育大要の準備要領

(一)教育學の研究範圍

最も初步的に教育學をやつたと云ひ得るのは、師範學校に於ける程度であらうと思ふ。しかれば其の教育科目中に如何なるものが含まれてゐるかといふに、心理及論理の大要、教育の理論、教授法及保育法の概説、近世教育史の大要、教育制度、學校管理法、學校衛生並に教育實習であるが、その何れもが大要を會得するに止まるのである。やゝ進んで來ると高等師範でやつてゐる程度であるがこれは前述のもの程度をもつと高めたものである。東京帝國大學文學部の中等學校教員無試験

檢定内規には、教育學概論、教育史概説、各科教授論、社會學概論、教育行政(教育制度を含む)、心理學概論、倫理學概論を各一單位を得べきことが示されてゐる。即ちこゝに示した所によつて大體教育學なるものの研究の範圍が明になつたことと思ふ。これは教育學なるものをいはず外延的に見たものであるが、教科の中等教員の檢定試験の内容はもう少し狭くなつてゐる様である。即ち前述の無試験檢定のものの中から、倫理學、社會學を除いたものから問題が選出せられるのださうである。受験の上からいへば成るべく狭い範圍の方がいゝが、併し一體に文化科學は全般的見通しが効かなくては、その研究は偏頗なものになり易いのであるが、教育學も同様に一方には深く入つて行く必要はあるが、また他方に於ては關係科學の涉獵にも怠つてはならぬ。此の點に於て教育學は困難なものともいへるが、また津々として盡くるなき興味の泉もこゝから汲み出せるものと思ふ。

(二)参考書につきて

次に教育學研究のための参考書を少し擧げて見よう。先づ小學校正教員檢定試験のため、教育の参考書は一般的にいへば師範學校の教科書が最も適當といへる。例へば東京府にては乙竹岩造氏の

教育に關する一組の教科書が参考書に擧げられてゐる如きである。私一個人の考からいふと、一體教科書といふものはその内容が大同小異であるから、その何れかでも精讀するのが最もいゝのでないかと思ふ。答案は指定参考書に書かれたる内容の程度にて充分なわけである。けれども問題の提出の仕方が必ずしも該参考書中に示された通りの題目を以てせぬ場合もあり得るのであるから、何れにしても内容をよく消化して、何れの方向から問ひかけられるにしても決してまごつかない様に準備することが肝要である。そして思ひ出すまゝに適當の教科書を擧げて見るならば

乙竹岩造著「新教育學」

吉田熊次著「教育學教科書」

入澤宗壽著「新制教育學」

篠原、小川、佐藤共著「晩近教育學」

松本、秋葉、石川共著「教育學」

田中、北澤、日田、島田共著「教育學」

等であるが、是等は教育科教科書中の教育學教科書であつて、他に當然それぞれの教育史、心理

學、論理學、各科教授法、學校管理法の教科書が揃つて一組織をなしてゐるのである。

一般に教育學を研究せんとする人に推奨したいのは

篠原助市著「教育學綱要」

これは師範學校專攻科教育教科書用として著述せられたものであるが、その内容は誠に簡單にして要を得たもので是非一讀して欲しいものである。初めに現代教育の一般的傾向が鳥瞰的ではあるがしかし明瞭な姿で紹介せられてゐるのは何よりも嬉しい點である。それから教育の意義及び理想や教育の方法論等、最後に社會教化についても重要事項が述べてあるので教へらるゝ所が甚だ多いのである。書籍は頁數が多いから尊いとはいへない、小冊子といへども、そのもられた内容が尊い示唆に富むものならば、それは貴重な文献たり得るのである。この意味に於て私は本書を奨めるのである。

乙竹岩造著「新教育學要論」

本書も亦專攻科用として編纂せられたものである。本書は第一篇には現時に於ける主要なる教育思想を明にし、第二篇に於ては教育の方法に關する諸問題を述べ、第三篇に於ては社會教化に關す

る理論及實際を舉示してゐる。その何れも現代の新思潮に基づくものの要點を紹介してあるので教育學の新傾向を各方面に亘つて簡單に知らんとするものには誠に調法である。同氏著の新教育史を讀んだものが直ちに本書を引き續いて讀むならば、思想の連關が甘くとれて、しかも裨益せらるゝ所も大であらう。

入澤宗壽著「教育思想問題講話」

本書は現時の教育上の諸問題が論究せられてゐる。一面に於ては紹介の形をとつてゐるが、また他面に著者の深い思索と熾烈な誠意とから送る批判が試みられてゐるので、誠に讀みこたへのある著書である。

吉田熊次著「教育學原論」

第一篇では教育學の根柢となつてゐる哲學的見解の由來を明にし神話的神學的哲學科學的人生論よりして遂に人格論に到達し、第二篇に於ては一般教育學の概説を試み、現代教育思潮の歸趨と基礎とを究明し、教育の意義より説き起し、諸問題を解釋論述し、以て教育學を組織的に大系あらしめんとし、第三篇に於ては、教育原理の諸問題、教育學の中心問題等の特殊の根本問題につきて、

著者の立場より詳細に論述してゐる。講演の筆記を基としたものが多いが随つて論旨も頗る平明容易に理解する事が出来る近來の快著である。

その他、同氏著の「増補最近教育思潮」や、その他教育界の諸大家の教育學の最新思潮を論述し合せて教育學一般の組織大成を試みたものはあるけれども、一々それらを擧ぐるにも及ぶまいから省く。

教育史については、吉田熊次氏の本邦教育史、及び西洋教育史、石川謙氏の教育史の諸問題、大瀨甚太郎氏の西洋教育史等がある。その他手ごろなものでは

吉田熊次著「教育史綱要」

があるが、これはもと師範學校の教科書のために編纂せられたものを増訂したものである。簡にして要を得たものといへやう。同じく四六判であるが、それよりも詳細に述べたものがある。それを私は一般に推奨したい。

即ち入澤宗壽著（教育史概説）である。

心理學論理學については、

各科受驗準備の要領

松本亦太郎氏著「心理學講話」

これは心理學研究の初歩者には必須のものである。否初歩者のみならず一般に心理學研究者にも好い参考書である。

高橋穰著「心理學」

四六判ではあるが相當読みごたへのある著書である。

關寛之著「心理學原論」大瀨甚太郎著改訂教育的心理學や上野陽一氏の心理學に關する著書等がある。その他兒童心理學や智能心理學や、作業能率等に關する特殊の参考書も随分澤山ある。

速水 瀧著「論理學」

これが手ごろと思ふ。その他紀平氏、須藤氏、永野氏、今福氏等の論理學がある、これ等も一通り読んで置けば大いに役立つと信ずる。
(以上参考書大明堂にて取次ぐ)

六、各科模範解答例

教 育

〔問題〕

情操及び情操の教育に就きて記せ。

〔解答〕

(一) 情 操

情操は高等なる智的活動に隨伴する複雑な感情である。情操は情緒に比較すると遙かに弱く表出も甚だしくなく、それに著しい永續的傾向を有つてゐる。それ故、情操はその人の有する一般的の感情傾向であると思ふことが出来る、情操に左の四種類がある。

1、論理的知的情操

2、道德的情操

3、宗教的情操

4、美的情操

(二) 情操の教育

(イ) 兒童の情操を陶冶し、彼等の心情を培つて行かうと云ふので、情操教育といふことが考へられる。ヘルバルト派の教育學者チルレルは特に道德的宗教的情操を重んずる所の情操科なるものを以て、各種教科統合の中心教科となすに至つたほどである。それ故情操教育といふと多くは道德的宗教的情操の啓培を中心としたものの如くに考へられる。而して更らに美的情操の陶冶の上に力あることも考へなければならぬ。

(ロ) 修身教授は主として知的に取扱つて、謂はゆるソクラテスの「知識は徳なり」と云ふことに従ふべきものか、それとも亦、意的方面から直接實行することに依つて、進むべきか、前者は理論より、後者は實踐よりそれ〴〵道德的生活の理想に到達することを目にかけてあるのであるが、併し乍ら茲にまた其のやうな知的意的行き方とは別な情的行き方をとつて、専ら道德的情操の陶冶と云ふ方面から進まうとしてゐるものがある、童謡童話詩歌又はお伽噺などの如き文藝的方面から出發

しようと思ふのがそれである。文藝教育の立場も此の點に於ては大いに意義深きものがある。

(ハ) 理科の時間に科學的究知の心から解剖した一匹の蛙も、時間がすんだあとでは懇ろに校庭の片隅に葬つてやる。かうして理科祭といふことが考へられた。女兒の爲には、針供養などもゆかしい。お節句や七夕祭その他の儀式の中にも、かうした様な一種の宗教的情操が培はれてゆくことに注意したい。

(ニ) 繪畫、音樂、演劇などの鑑賞を通して、高等なる美的情操の陶冶を圖ることから、かう云つた様な方面の藝術教育が盛んになつたことも意義あることであると思ふ。

〔問題〕

教授の段階について記せ。

(解答)

一單元を教授するに當り、其の事を成るべく完全に了解せしめて、新智識を確實に兒童の所有となさんとするには心理的論理的規則に基づいて、一定の順序に由るべきものなり、此の順序を教授の階段と稱す。

此の事はヘルバルト、チルラー學派の人より始めて、大に唱へられし所なれども、段階の區別に就きては、同派中の人にも多少の異見なきに非ず、今四五の例を擧ぐれば左の如し。

ヘルバルト—¹明瞭—²聯關—³系統—⁴方法(活用)

チルラー—¹分解—²綜合—³聯關—⁴系統—⁵方法

ライン—¹豫備—²提示—³連結—⁴總括—⁵應用

ドルブフェルド—¹直觀—²思考—³應用

リヒター—¹把捉—²構成—³應用

ザルウイルク—¹指導—²提示—³整理

ワルゼマン—¹目的指示—²直觀—³認識—⁴應用

ライ—¹豫備—²直觀—³類化—⁴發表—⁵編入

(1) 豫備とは—兒童の既有觀念の喚起

(2) 提示とは—新事實の提示

(3) 比較とは—新舊觀念の連結

(4) 總括とは—概念の完成

(5) 應用とは—一般の觀念、規則又は理論を個々特別の場合に試み、一方に學びたる所を他方に利用し以て其の知識を擴張せんとする働なり。

今此等に就きて聊か述ぶる處あらんとす。凡て物の成長は其の形質と内容とに待たざるべからずされば教材を取扱ふ順序に至りては、古くより學者によりて考へられたり、

(1) アリストテレス—¹知覺、²思考、³努力。

(2) ルーテル—¹諸誦、²説明、³應用。

(3) ラトゲ—¹實例、²法則、³練習。

(4) コメニウス—¹理解、²記憶、³練習。

ヘルバルトは教授の順序に關して、一層深き研究をなせり。

靜止的—¹明瞭—²個々の觀念の明瞭

進動的—¹聯關—²觀念間の聯關

專心

致思 静止的—系統—個々の観念を全體の關節として。

進動的—方法—系統を通観して新しき關節を。

チラーはヘルバルトの教授の順序を修正して、五段とした。其の主なる旨意は具體的観念の收得と、概念的思考の段階である。

ラインはチラーより一步を進め實際的とした。其の重なる旨意は、類化作用と抽象作用とにあり。

ヘルバルト派の形式的段階説に改修を施したる人々に、デルプエルド、レーゲネル、ザルウイ、ワルゼマン、ライ等あり。是等各種の改修意見は種々あれども、其の一致點を見出せば、

(1)直観より概念に、(2)特種より一般に。(3)個々のものよりその論理的關係に進むの順序を取れることなり。今日一般に採用せらるゝは、豫備、教授、整理の三段なり。

(1)豫備の任務

(A)、問題の發見構成によりて、學習動機を誘發するにあり。

(B)、目的指示は學習動機の誘發にあり。

(C)基本練習も豫備の一任務なり。

(2)教授

直観によりて具體的知識を獲得し、狹義の思考によりて、普遍的知識(法則)に到達す。直観より狹義の思考に至る論理的過程を一括して教授段と呼ぶ。注意すべき事項、

(A)教授を具體的知識の程度に止むる場合——事物の明瞭確實なる表現。

(B)普遍的知識に到達せしむる場合——因果關係より、法則(自然現象)、規範(精神現象)の想定

(3)整理

(A)應用によりて知識を能たらしむ。

(B)具體的智識も普遍的知識も、之を既有的系統中に編入すること。

〔問題〕

教授細目について。

(解答)

(1)意義

小學校に於ける教科課程、教科用書、及び教授の期間等は、法令に依り概ね劃一に制定せられたれども、尙實際の教授に當りては、土地の情況、兒童の發達、學級の編制等、諸種の事情を考察し適切に其の學校の境遇に適應するやうに教材を選択し、排列し、以て一年間の教授の進行を豫定せざる可らず、此の標準豫定案を名づけて教授細目と云ふ。

(2) 教授細目編制の原理

教授細目は實際の教授に對して、教員の指針となるものにして、國家は之が制定を小學校長の職權に委任したり、蓋し小學校長は、一校教育の中心にして、兼ねて地方教化の首腦なればなり。教授細目編制に關する主要なる原則を擧ぐれば次の如し。

- (1) 先づ各教科目の教材を各單元につきて研究し、其の土地の狀況、學級の狀態、兒童の事情等に應ずる様考案を回らし、次の之が教授の時間を調査し、而して後之を一學年間の週數又は小期數に配當排列すべし、此に如き細目は即ち教材本位の細目なり。之に反して、單に一學年間の週數を案じ、器械的に教材を均分排列したるものは、週期本位の細目にして、實際教授の指針となすに足らざるものなり。

- (2) 各教材の排列は季節の變化に一致せしむべし。
- (3) 一教科内に於ける縦の聯絡と、他の教科との横の聯絡統一とに注意すべし。
- (4) 兒童の發達に應じて、偶然事項を應用し、又は反覆練習をなすべき適宜なる時間の餘裕を設くべし。

- (5) 粗密孰れの極端にも流るゝことなく、繁簡宜しきに適ふべし。
- (6) 時々修正を施し、時勢の進歩と、學校の事情とに適合せしむべし。

體 操 科

[問題]

小學校に於ける體操科の要旨如何。

(解答)

- 一、身體の各部を均齊に發育せしめ 全身の健康の保護増進
- 二、四肢の動作を機敏ならしめ

各科模範解答例

- 三、精神を快活にして剛毅ならしめ。
- 四、規律を守り協同を尙ぶの習慣を養ふ。

〔問 題〕

競技運動指導上の注意を述べよ。

〔解 答〕

- 一、年齢又は性別によつて、運動種目と其程度とを考慮すること。
- 二、練習の原則を定め、休養の點に留意すること。
- 三、精密なる成案を作製すること。
- 四、設備は成るべく簡單を旨とし、しかも完全を期さねばならぬ。
- 五、均等の機會を得しむる様心せねばならぬ。競技運動は兎角優者のみに活躍せしめ、劣等生又は弱者を疎遠に扱ひ易い。即ち一部生に偏し易いから、その弊に陥らぬ様常に心する事が肝要である。
- 六、テクニカルフアウルとパーソナルフアウルとを明瞭に區別して指導することが必要である。

前者は技術上の反則であり、後者は對個人的品性上の反則に屬する。兩者を明瞭に區別して指導することは、常に競技そのものを生かすのみならず、精神上にも非常に良い影響を及ぼすものである。

- 七、創造力を十分に發揮する様指導する事が肝要である。
 - 八、危害の豫防に關しては常に深甚なる考慮を要する。
 - 九、競技運動の理想を達し得らるゝ様指導上常に心掛けねばならぬ。
- 茲に云ふ理想とは、運動精神の發揮と身體發育の助長とを指すものである。

〔問 題〕

散兵は敵に向ひ直進するを有利と言ふ、其の理由二つを挙げよ。

〔解 答〕

- 第一、速かに敵に接近し我が火器を有利に使用し得る爲。
- 第二、敵火に暴露する時間を減少し得る爲。

英語科

【問題】

—Translate into Japanese—

- (1) More than 10'000 big fireflies were Presently recently to the Emperor from the Ishiyama's Temple in Omi, a noted place as Shiga Prefecture, They measured about one inch in length.
- (2) Though heaven and earth are eternal, we are non port again. Human life isshort at the long stu. nothing flies more swiftly than time. Therefore, those who have been fortunate enough to see the light should make the most of life; they should consider how miserable it is to waste their days away.
- (3) a 第一問中 10,000 の読み方を問ふ。
b He was born in 1850. 中の 1850 のよみ方を問ふ。
o 下配の語の變化をとふ。

be, find, catch, heard, shine, rise, shook, thought

次の文を英譯せよ。

- (4) 忙しくて讀書の暇が殆んどない。
(5) もう少し忍耐がなくては何事にも成功せぬ。

(読 物)

- (1) 一萬匹以上の大きな螢が近頃滋賀縣の有名な近江八景のーに數へられる名所近江石山寺から天皇陛下に献上された。これ等の螢は身長約一吋もあつた。
- (2) 天地は永遠なれど吾人は再生せず。人生は長く見えても短きものなり。時程速かに経るものなし。されば幸ひにして此の世に生を享けし者は人生を善用すべきである。彼等は彼等の生涯を無駄に費やすの如何に生き甲斐なきかを考ふべきである。

- (3) a. Ten thousand.
b. 1 eighteen fifty.
o eighteen hundred and fifty.

一人稱 am was been find found.

二人稱 are were been catch caught.

三人稱 is was been hear heard.

shine shone. rise. rose. risen shake. shook. shaken. think. thought. 以上の外に ingform & s-form あり。

(4) I am so busy that I can hardly find any time to read books.

(5) You can not succeed in anything unless you try with a little more perseverance.

農 業 科

〔問題〕

我邦の農業の特質につきて述べよ。

〔解答〕

農生産業と雖も世界各国共に經濟的地理的原因によりて農業の特質を異にす、更に言へば農生産業が自然に依頼すること大なるが故に氣候風土地勢等によりて其國特有の發達を示しつつあり、今本邦農業の特質を擧ぐれば、

1、集約的經營たること。

四面皆海に圍まれたる島國であり且つ山脈縱横に貫くを以て比較的平地に乏しく農業地としての利用面積狭少なれば機械の利用盛んならず、多くは人力畜力に依ること大なり。且つ人口の多きに比し農地少ければ食料生産上より一定面積の地に資本勞力を費すこと多ければ粗放經營より集約農法にすゝみつゝあり。

2、米作が農業の主體たること。

由來東洋人は米食を以て生活の本位となす、従つて古農法の發達を見るに米麥の栽培が主にして、養蠶特用作業の如きは後世に至りて發達したるものなり。

3、養畜未だ發達せざること。

欽明天皇(一一二二)の御代佛教の傳來ありし以後、殺生食肉の禁ありしを以て、我國に於ては

乳肉の利用盛んならず、且つ地勢原野に乏しければ未だ牧畜の業他國に比して盛ならず。

〔問 題〕

下肥の貯藏及び施用上の注意を問ふ。

〔解 答〕

新鮮なる下肥は土壤に吸収せられざる尿素、食鹽を多量に含有するを以て作物根を害し、且つ尿
素の流失する虞あれば良く腐熟せしめざるべからず、之を腐熟せしむれば尿素及蛋白質は分解し
て土壤に吸収せられ易き炭酸アンモニアと變ずる、此の炭酸アンモニアは揮發性のものなれば貯
藏に注意せざるべからず。今主なる要項を擧ぐれば、

- 1、肥溜は陰冷の場所に設け蓋をなし、屋根を作り日光の直射と空氣の流通を防ぐべし。
- 2、二三倍の水を加へて稀釋し且つ少量の過磷酸石灰を入れるときはアンモニアの揮發を防ぐ事
を得。

施肥上の注意

- 1、窒素と加里を含む割合に磷酸分に乏しければ施肥の際、磷酸肥料を併用すること。

- 2、肥効速かなれば一時に多量を施すことなく、數回分與するを良しとす。
- 3、アンモニアの揮發を防ぐ爲めに日中を避け且つ施肥後直ちに土を被ふべし。
- 4、石灰肥料と混ずるときはアンモニアを遊離するを以て石灰との混合施肥をなさざる様注意す
べし。

〔問 題〕

善良なる米の具備すべき條件如何。

〔解 答〕

- 食用としては香佳良にして粘氣に富み、醸造用としては蛋白質少きものを可となし、輸出米とし
ては米粒の長大なるをよろこぶ等、用途によりて異なるも一般に善良なる米は、
- 1、純白半透明なること。
 - 2、形正しく縦筋の淺きこと。
 - 3、粒の大きさ均一なること。
 - 4、死米青米等の混ぜざること。

5、腹白の少きこと。
等である。

商 業 科

〔問 題〕

左の各項につき知れる所を記せ。

(イ)支配人。

(ロ)株式會社の機關。

(ハ)相互保險。

〔解 答〕

イ、支配人とは主人に代つて其の營業に關する一切の行爲をなす權限を有する商業使用人で、其の權限は主人に代りて、其の營業に關する一切の裁判上及び裁判外の行爲をなす權限を持つてゐる。支配人の義務といふのは、支配人が其置かれた本店又は支店に於て、主人の爲め其商業を營む職務を有す。それだから支配人が自己又は第三者の爲め商行爲をなし、若くは會社の無限責任社員となるが如きは、主人の許諾が無いと之を許されないことになつて居る。

ロ、三あり、一は株主總會で、意志決定の機關で、二は取締役で執行機關であり、三は監査役で監督機關である。
ハ、多數人が相互救済の下に直接團體を作つて損害の分擔をする組織で、我保險業法に依ると百人以上の社員から成り、基金十萬圓以上と云ふ事になつて居る。

〔問 題〕

爲替相場變動の原因及び其の限度を問ふ。

〔解 答〕

(イ)手形の需要供給。手形の價格を一般の貨物の需要供給によつて變動せられる。即ち需要増加すると騰貴し、供給が増加すると下落するものである。
(ロ)支拂の確否。手形は信用證券であるから、其支拂の確否によつて價格に影響する。銀行手形が商業手形に比して高率なるは、この理によるのである。
(ハ)期限の長短。これは支拂の確實性並に利息に影響するから、これに變動が生ずるものである。

(ニ)貨幣制度。他の事情が等しければ、同本位國の相場は變動がないが、本位貨幣に差あれば變動に常がない。

以上は爲替相場變動の重なる原因であるが、爲替市場には變動に一定の限度がある。即ち戰亂恐慌等の非常時は別として、正貨の輸送費(運賃保険料子等の合計額)を限度として上下する。即ち相場が輸送費以上に騰貴するときは手形を買ふよりも、送金者は正貨を輸送するを利とすべく、相場が正貨輸送費以下に下る時は、送金を受ける者は手形を振出して、之を賣るよりも債務者より正金を回送せしむるを利とするものである。この限界を正貨輸送點(Specie point)と稱するるのである。

〔問題〕

銀行業者が貸付及割引を爲すに當りその注意事項を述べよ。

(解答)

之を貸出の規準と之に伴ふ注意事項につき説明すれば、貸出の規準には四あり、

(一)貸出は國民經濟上有益なる事實に放資する事。

(二)貸出は確實にして損失に歸するが如き眞なきものたる事。

(三)貸金が固定の戻なく又必要に應じて容易に回収し得べきものたる事。

(四)銀行にとりて利得多きものなる事。

注意すべき事項は

(一)期間 割引貸付共に他の事情等しければ短期のものを選ぶ事。

(二)利率 他の事情等しければ可成利率高く銀行に有利のものを選ぶ事。

(三)關係人 相手方が十分返済能力を有し、且つ返済意思を有する確實なるものを選ぶ事、殊に手形にありては、融通手形又は振出順序に注意するを要する。

(四)資金の用途 貸出資金は著實なる企業に用ひらるゝや否や、事業の失敗、倒産救助又は遊蕩投機空商の資なりやを吟味する事。

(五)擔保物件 この選擇は容易に損失を被らず、回収不能性の多少に注意する事。等である。

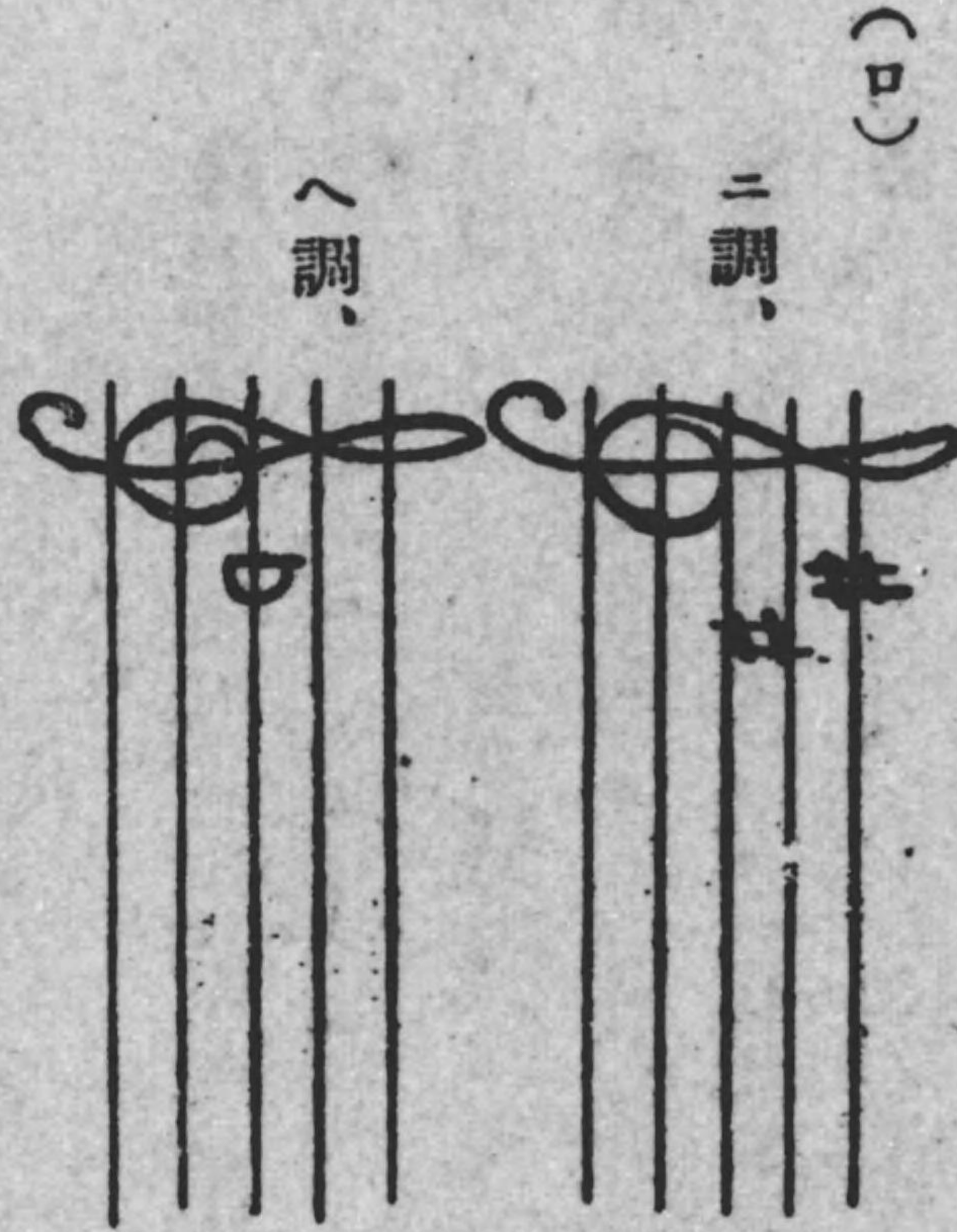
音楽科

〔問題〕

- (イ)大譜表とは如何なるものを云ふか。
- (ロ)ニ調、ヘ調の調號を譜表上に記せ。

〔解答〕

(イ)大譜表とは二個の譜表を縦線と括弧とを以て連合したものを云ふのである。



〔問題〕

左の記號を説明せよ。

(イ) ♯

(ロ) sf

(ハ) ff

〔解答〕

(イ)は本位記號と稱し、一旦嬰又は變の記號によつて上下せられたる音を本位に復するに用ひるものである。

(ロ)はフォルチッシモ (Fortissimo)の略號にして最強に奏唱する時に用ふる記號である。

(ハ)は同一の場所を全く反復する反復記號である。

裁縫科

〔問題〕

左の事項につきて問ふ。

- (イ)女兒洋服下着の種類。

各科模範解答例

- (ロ)富士絹友染と縹子との腹合帯の地直しの仕方。
- (ハ)表地二丈九尺の用布にて袖丈着丈を普通寸法にて男物袷羽織を作らんとす。裏地何程を要するか其の積り方。

(解答)

- (イ)アンダーウエスト。ズロース。ベテコート。ストライトベテコート。プリンセスシミーズ。コンビネーション。
- (ロ)富士絹は耳を伸ばし火熨斗をかける時地色の變らぬ様に薄い白布を當て、裏から全體に掛け卷棒に卷く。
耳の伸びない時には一二寸おき位に切目を入れて伸ばす。
縹子は兩耳を少々伸ばす様にして裏から火熨斗をかけ尙伸びない時は同前切目を入れて伸ばし全體に火熨斗をかけて卷棒に卷く。特に織出しの線の曲りに注意して眞直ぐになる様に直すべし。
- (ハ)裏地積り方

(裁切袖丈×8+(上り身丈+三つ袴縫代)×10+總縫代)ー表地=裏地。
{14.5×8+(27.+3)×10+26.}ー290.=125.寸

總縫代計算

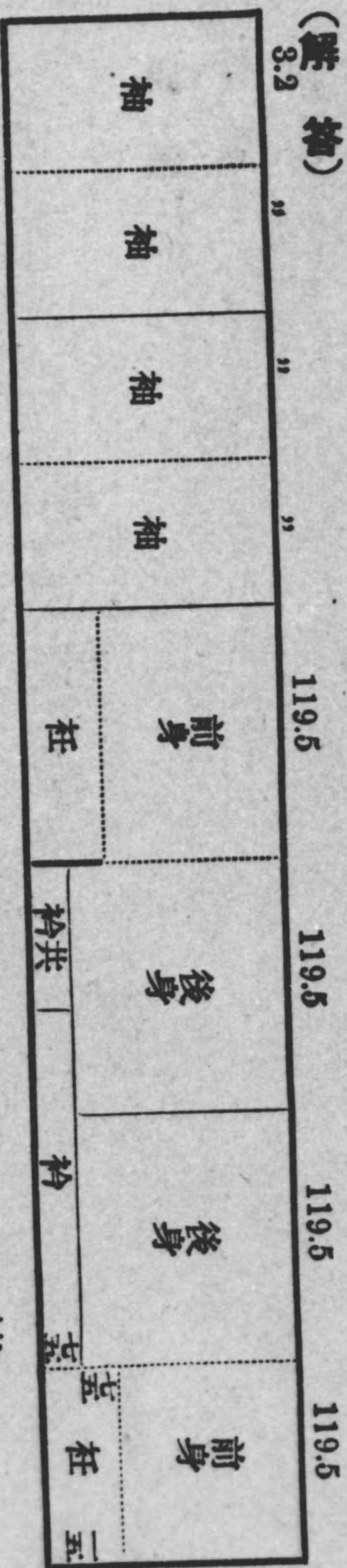
肩縫縫代×8+袴肩及袴縫代×2+前下り×4=總縫代

1.×8+6.×2+1.5×4=26.寸

【問題】

並幅長さ666種の用布にて元祿袖の四つ身を裁たんとす。如何なる裁方によるべきか。圖解して各部の寸法を記すべし。但し袖丈三十二種とす。

(解答)



各科模範解答例

家事科

〔問題〕

人工哺育につきて注意すべき事柄を記述せよ。

〔解答〕

人工哺育とは人乳以外のものを以て乳兒を哺育することを云ふ。即ち山羊の乳、牛乳、煉乳、粉乳等は其の主なるものである。最も多く用ひらるゝ牛乳に就きて述べる。

母乳は出産後日數を経るに従つて濃度を増す。即ち乳兒の發育に添つて行くものである。然れども牛乳は牛種と年齢と産期と搾取の時期とに依りて多少濃度が異ふが、實際は幾頭かの分が平均される故に概して水分と糖分を補充して乳兒の發育に適せしめる。

1、薄め方及び一日量と授乳回數。

母乳が自然に濃度を増す如く水分を加減することは誠に困難なことであるが普通標準(種々の説はあれど消化が充分であるかぎり濃きものを用ふる方よし)

月 齡	牛乳	水	糖 分	量	回 數
生後三週間まで	一	二	牛乳の 三%	乳兒の體	八
四週より六週まで	一	一	四%	重の一割	七
七週より六ヶ月	三	二	五%	を標準と	六
七ヶ月より	全乳		五%	する、	六

とし、なほこの標準を細かくわけて一週毎位に濃度を増し量を増す、五ヶ月目位より水の代りにうすき粥汁を用ふをよしとす。粥汁も漸次濃度を増す。

2、選び方。牛舎食物等によりて其の質を異にする故にそれ等に注意し信用ある店より購入するがよい。

3、殺菌するには直に授乳し得るやう調へたる乳を一日の授乳數だけのびん數に一回量づゝ分ち入れ、清潔な青梅綿を瓶口につめて殺菌器に入れて殺菌し、冷えるのを待つて取り出し冷所に置く。

煉乳、粉乳等は生乳に比すれば消化養分等が劣るが、牛乳を得がたき場合は善質のものを用ふる

がよい。

〔問題〕

白地の木綿、麻類の洗濯法について述べよ。

〔解答〕

(一)木綿白物の洗濯法

洗濯物の汚れの程度によつて、用剤の分量及び取扱方は多少異なるが先づ其の概要を述べると次の様である。

1、豫洗。

(イ)薄い炭酸ソーダ液(約〇、五%)か又は水の中に被洗濯物を浸し、日向に三十分か一時間位放置しておく。

(ロ)先づ振付け、次に揉み付けること。此の時糊の落ちると同時に表面の汚垢も亦落ち、本洗の場合に洗濯液をよごさず、洗濯力を逞ましくする働きがある。

2、本洗。

(イ)左の様な本洗液を三十分位浸漬する。

布一反について、熱湯(一〇〇度) 一升

炭酸ソーダ 二匁

粉末石鹼 四匁

右の液中に放置する間に薬剤は繊維の間に浸入し、布の汚れに對して化學作用を營む。よく化學變化が起つて居れば居る程、機械的に揉み洗ふ必要が少いわけになる。

(ロ)充分に浸して置いた布を振付けて洗ふ。落ち難き汚點部には特に石鹼を塗付けてもむか、又は板上に延べてブラシでこする。

(ハ)充分全面がきれいになつたら、完全に水洗する。若し汚點が残つて居たら汚點抜きをする。

3、漂白。普通の場合は省く、古くて洗濯のみでは純白にならぬ物に限つて適用すればよい。

4、白染。多量の水に、ペレンス液數滴を加へたものに暫時浸すこと、白地が青色に見えない程度に、

5、乾燥。白色物は出来る限り烈日のもとに曝らして乾燥させること、物干竿又は麻繩等は、白

布に汚點を生ぜぬ様注意して用ゆること。

6、糊付

(イ)左の糊をよく布に揉み込んで、烈日にて乾かすこと。

水 一升

銀生麩 五匁

銀生麩をよく解き火にかけて煮、固りをつくらぬ様に、一升にのばして糊とする。硼砂及白蠟の解きたるものを混じてもよい。

硼砂 二匁

白蠟 〇、〇五匁

(ロ)5の場合と同様に乾燥し、乾燥後取入れ、霧吹をなし、形を正し、皺のばしをする。蠟をかけるならば、裏より皺を延ばす様にかけ、表よりは只仕上蠟をかけるだけとする。敷伸をする場合は、糊付の時、布片を板上で手掌にて叩き小皺を伸ばし置き、乾燥後、霧吹きをなし、暫時置きて、畳上げ、ござに包み、重壓をかけ、後再び陽に乾かす。

(二)麻白物の洗濯法

大體は木綿反物の洗濯法に準じて、洗濯すること、但し麻類は薬剤に對して弱いから、汚れの度合と布の性質を考へて、薬品の分量をひかへ目に用ふる事、及び物に依り用ひ方を考へて、布を害さない様な方法を用ひる事が必要である。

〔問 題〕

てんぶらの作り方を記せ。

〔解 答〕

(イ)準備。えび、いか、白魚等

えびは皮をむき、頭をとり腸をぬきて水氣をきつて置く。いかは足をぬき、ひらきて膜をとり庖丁目を入れてよき程に切り、足は細く切りてかきあけとする。

白魚は洗ひて水を切つて置く。

(ロ)方法。

めりけん粉に食鹽少量を入れて水にてとき、どろ／＼の加減にころもを造る(卵を入れれば味

よし)

ごま油或は豆油を揚鍋に入れて火にかけ、煙が上る程度になりたる時、前の材料に、ころもをつけて、形を整へたらば金あみ又は新聞紙等の上にとりて油をきり、器に盛る。合せ汁と大根おろしを添へる。

七、参考書について

参考書の選擇

教員検定の受験参考書は、各府縣に於て、夫々之れを定めて發表してあるから、なるべく受験しようとする府縣の指定参考書を精讀する必要がある。是れは最寄の小學校か役場でも知り得ようし縣廳へ問合せれば尙詳細に判る。

一般の参考書としては、其の選擇の要件として、諸君が統一し難き智識を比較的短時間に比較的容易に秩序正しく正確に記憶了解せしむるもの、でなければならぬ。夫れ故、一寸書店をひやかして店頭で開いて見て、分り易い様だとか、頁數が多いからとか、活字がきれいだからとか云ふ如き淺薄な理由で選擇さるべきものでは無い。一本を購ふにも充分の注意を要する。

扱て専科正教員検定試験受験用参考書として最もよく讀まれ、且つ指定使用としても定評あり標

準書として歓迎されつゝあるものを左に掲出して置く。

重要参考書一覽

教育

書名	著者	發行所	定價(昭和三年四月現在)
(教育學)教育科教科書新教育學	乙竹岩造	培風館	一、三二
(教育史)同 新教育史	同	同	一、四一
(教授法)新各科教授法	同	同	一、六二
(管理法)新小學校管理法	同	同	一、二九
(心理學)教育科教科書新心理學	同	同	九四
(論理學)同 新論理學	同	同	六二

手工科

新手工科教材及教授法	岡山 秀吉	培風館	二、八〇
師範學校手工教科書(前後)	上原 六四	目黒書店	二、六五
用器畫法新解	岡山 秀吉	芳進堂	二、〇〇
	阿部 七三		
	富田 伊三郎		

商業科

甲種程度商業教科書上下	二 坂内 廉一	同文館	三、一〇
甲種程度商業簿記教科書上下	二 吉田 良三	同文館	二、六五
商業提要	二 佐野 善作	三省堂	二、七二

農業科

改修作物病蟲害教科書	十時 雄次郎	興文社	五五
------------	--------	-----	----

参考書について

水産學綱要	杉浦保吉	博文館	二、四〇
農業教育及教授法	横井時敬	寶文館	三、五〇
改編農業原論(上・中・下)	横井時敬	興文社	三、三〇
改修農業氣象教科書	駒井春吉	興文社	四、二
農藝化學實驗法	澤村眞	右同	九、五

圖畫科

中學校現代圖畫	三 圖書教育研究會	目黒書店	三、六〇
圖畫理論教科書	一 白濱 徹	圖書會社	六、一
最新用器畫法精義	山崎 競	積善館	一、七〇
圖學新教科書	四 岡田 外一名	興文社	二、四八

音樂科

(理論)小學唱歌集	三 文部省音樂取調掛	東京音樂學校	七、四
オルガン教則本	二 島崎 赤太郎	共益商社	一、六〇
實地教科通用進行曲粹第一集	開 成 館		七、七
新編樂典教科書	一 天 谷 秀	修文館	五、八
新選小學唱歌教授法	一 石原 重雄	共益商社	五、〇

體操科

學校體操教授要目	體操研究會	目黒書店	二、〇
學校體操要義	永井道明	大日本圖書株式會社	
運動の生理及衛生	牧 亮 吉	斯文書院	一、三〇
學校體操	二 宮 文左衛門	目黒書店	四、〇〇
學校體操の指導	一 大谷 武一	目黒書店	一、六〇
步兵操典	陸 軍 省	目黒書店	四、〇

參考書について

専科正教育受勝法

陣中要務令

右同

一〇〇

歩兵射撃教範

右同

五〇

歩兵須知

武揚堂

六五

(以上すべて男女共通とす、但女子に限り要務令以下を除く)

英語科

インターナショナル
リーダース自一至五
ニュースクールグラ
ンマー自一至二
コンサイス、イン
リシユ、コンボイシ
ヨシ自一至三
シツクス、セレクシ
フロム、アーヴイ
スケッチブック

五	増田 藤之助	丸善株式会社	四、五二
二	豊谷 榮	開成館	一、〇九
三	阿久津 謙二	興文社	二、〇四
	興文社	右同	六五

裁縫科

現代裁縫教科書
裁縫新教科書
新裁縫學習法
裁縫教授法

四	吉村 千鶴	開成館	四、三七
四	伊藤 英子	集成堂	三、一五
	木下 竹次		三、八〇
一	今村 順子	目黒書店	一、二〇

家事科

文化中心家事新教授法
家事實習案内
家事新教科書上・下
應用家事教科書上・下

石澤 吉磨	教育研究會	一、五〇
大江 スミ子	目黒書店	一、〇〇
石澤 吉磨	集成堂	二、一八
二 大江 スミ子	實文館	一、八四
一 乙竹 岩造	培風館	一、三六
一 右同	同	一、六二
一 右同	同	一、八〇
伊藤 千眞三	大明堂	一〇一

(教育全體) 教科書 新教育學
最新教育大意

参考書について

専科正教員受驗法

一〇二

(同) 同國民道德要領

同

同

一、八〇

(同) 小學教員各科檢定

獨學受驗法

同

一、五〇

以上の外、準備篇や合格者の受驗記中に記載しあるものも、参照されたい。

◇以上の書籍は大明堂にて便宜取次販賣す。

全國教員試驗最近問題全集
五月新刊發行
大明堂發行

八、試験に際しての諸注意

試験前の注意

學科の準備も終了を告げ、試験期日の切迫して來ると、受験者はソワ／＼と落着きを失ふ様なことが多いが、是れは大の禁物で、出來る丈精神を落着け、心を平靜にするが肝要である。

試験前日など徹夜する者もあるが、斯くの如くでは當日の頭腦の働きを鈍くする虞れがあるから先づ安靜に十分の睡眠を擡つて明日の英氣を養つて置く様にされ度い。

尙、試験前夜は、試験場へ持參する物品など遺漏なく取揃へ、十分の出場準備をする、いはゆる試験戦への出征準備を遺憾なく用意しておくことを忘れてはならぬ。

試験當日には、努めて早起して、試験場へは試験開始時間前、少くとも三十分位の餘裕のある様出發すべきである。受験者中には試験間際に息せき切つて駆け付け、慌てゝゐる者などもあるが、かくの如くでは満足なる答案の出來得べき道理がない。

試験場に臨みて

愈々試験當日となり、試験場に臨みては、沈着冷靜にあるべきである。試験に際して其の實力と伴つて、も一つ度胸、膽力といふことが必要である。焦慮の結果、自己の能力を十分に發揮し得ない程残念なことは無い。

平生に於て十分に實力を養ひ、而して度胸を据えて臨めば、成功已に半に達してゐると見てよい要するに虚心平氣、問題に當る、のである。受験者中には、戦々恟々として、問題が出ると一見題意を誤解したりなどして失敗の憂目に遇ふものがある。凡て不安に過したり實力を殺したりなどせぬ様、勇氣を以て一貫して欲しいのである。

實力は先づ以て大丈夫と自信して居乍ら、失敗するのは、一つは試験場に於ての心得がわるいからだと云つてもよいと思ふ。

答案は如何に作成すべきか

試験の當落はその答案の良不良に依つて決する。數ヶ月に亘る苦闘と多大の犠牲とを拂つて準備した結果は數枚の答案によつて定まるのである。

まことに答案作成は、試験合格に於ける要訣で、受験者の最も研究を要するところである。しかば其の作成上如何なる事に留意すべきか、以下参考の爲め、諸般の注意事項を述べることゝしよう。

(イ)問題の意味を理解すること。よく注意しない爲めに、問題の意味を違へることがある。例へば「何々を表示せよ」とあるのを、表で示さずに詳記するが如き、其の内容に於ては大差は無いであらうが、題意に叶つた答案とは言へ得ない。殊に問題の意味と全く異つた、想像もつかぬ答案など作成しては如何とも仕方のないものである。

(ロ)要點を捉へて。凡て問題には中心點、即ち生命とも云ふべき要點がある。此の要點に觸れて居ない答案は生命なき死したる答案である。故に問題が配布せられたなら先づ熟讀して其の主眼點を見通し、而して後十分の腹案成つて筆を執る、良き答案は問題の要點を要領よく擷んで、それに適つた明答を與へることである。

(ハ)容易のものを先に。問題は亦平易のものを先に片付け順次困難なるものへと移つて行く、最初に六ヶしい問題があつて、それに對して考慮してゐるうちに時間が経過して了ふことがあつては、遂に一題も解けないことにもなる。であるから、容易なる問題はどしどし先に解釋して置いて、六ヶしいものをゆつくり考へるといふ方法を執るのがよい。

(ニ)説明の順序を正しく。答案は順序正しく記述する、秩序なく徒に書き連らねても、試験官を困らすのみで名答とは言はれない。或る試験官の話に、くどくどと書かれたのより箇條書きに簡明に書かれたものゝ力が見易く且つ感じがよい、とのことであつたが、尤もなことである。順序なく錯然たる書き方では幾枚書いた所で効果がない。

(ホ)丁寧に明瞭に。答案の字は丁寧に明瞭に、一見して試験官に判る様に書くがよい。汚い字は先づ最初にハネられることもある。丁寧に書かれたものは、どうしても最後まで試験官の手元に残る、粗雑なもの誤字の多きもの書き損じの多きものなどは、答案としては、價值なきものと言つてよい。きれいに一目整然と書き記すことは答案作成上の一つの要件である。

(ヘ)時間の利用。時間はなるべく一ばいに使用する。若し時間前に書き終つたととしても、直に提

出することなく、再三調べて見るがよい。急いで事を仕損じては折角の骨折も甲斐無きものとなるから、時間を一ばいに使用して、成るべく完全な答案を出すことに心得えられ度い。

(ト)最後に。愈々答案を提出する時には、も一度次の様な注意を繰り返して見る、即ち

- 一、氏名や番號を書き落してはゐないか。
 - 二、問題の番號が間違つてはゐないか。
 - 三、問題の見誤りが無いか。
 - 四、誤字、脱字、意味不明瞭の箇所は無いか。
 - 五、答案の綴り順序に誤りは無いか。
- などである。要するに、用意周到に、自己の運命を左右する答案であるから、萬全を期して置くことが肝腎である。

九、試験委員の談

小検希望の獨學者へ

某試験委員談

渾身の勇氣を鼓舞して檢定に依つて、月桂冠を獲得せんとする獨學者、殊に小學校教員を希望して着々準備道を進んでゐる世の受験生に、試験委員としての一片の注意談を申し上げて参考に供し様と思ふ。勿論是れは極く概要に過ぎないから、其のつもりで一讀を願ひ度い、先づ勉強法より説くこととする。

一、勉強法

1、精力を集注せよ。
學校へ入つた人は學問專業である。朝から夜まで勉強が仕事である。従つて餘裕も多くあるべき

筈であるが、獨學者は何かの業務の傍ら僅少の時間に學問せねばならぬ。従つて時間に餘裕のあるべき筈がない、どうしても一時は間口を狭めて趣味や嗜好に制限を加へて一途に目的に向つて、突進せねばならぬ。友人が碁を打つから僕も打つ、將棋をさすから僕もやる。テニスも來いと、何も彼も手を出すことは大の禁物である。唯勉強に疲れた頭を恢復すべく極軽い程度に趣味や運動をすべきである。餘り耽つて勉強時間を減殺し且つ心身の疲勞を増してはならぬ。要するに注意を一方に集注して決して他を見てはならない。

2、勉強の時間。

勉強はしたいが時間がないといふ。受験者各位の生活の中から一日に二時間や三時間何處からでも見出すことが出来る。假に小學校に准教員なり正教員なりとして奉職してゐる人が課業時間を五時間と見て放課後約一時間にして校務は處理する事が出来る。夜は殆ど自分の世界だ、元氣旺盛な青年にして五時間や六時間の仕事で疲勞する筈はない。毎日／＼規律的に時間をきめて勉強するがよい。或時は徹夜時には幾日も讀書を廢すといふやうな法は不成功の基である。たとへ頭腦は優秀でない人でも、不斷の努力によつて目的を貫徹する事が出来る筈である。學校で自分の勉強する人

は校長乃至同僚に嫌はれる基となるから學校では決して校務を怠つてはならぬ。教材の研究なり教授法の研究なりは、やがて自己を價値つける所以であつて決して檢定試験の妨害にはならぬ。人に依つて朝勉強に適する人と夜でなければ勉強出來ぬ人とあるが、之は其本人の身體的特質と長い間の習慣から來る事で一樣には言はれぬ。要するに自分自身に於て決定すべきであつて他人の模倣するには及ばない。唯要は毎日くたゆみなく平均に始終一貫進むべきである。

3、精讀と多讀。

凡て讀書法には精讀主義と多讀主義とがある。之は兩方とも必要で決して主義に偏してはならぬ。小學校教員の檢定位は普通學の一通をやるだけだから大體精讀主義がよいと思ふ。併し數學理科の如き科學的のものは唯一冊の本を精讀でもよいが、國語とか地理歴史とかいふものになると相當澤山讀まねばならぬ。大體各科に亘つて師範校の教科書とか或は其の府縣で指定せられた参考書とかを見るべきであるが、國語科の如きは少くとも中學師範の教科書の二三部位は見て置く必要がある。大部の参考書を見る事は却つて頭が混亂して系統を缺く所以だと思ふ。中等學校の教科書も之を了解する事は相當困難なものである。

4、先輩に質せ。

檢定受驗者の通癖ともいふ忌むべき傾向は先輩に質することを嫌ふことである。自分の狭い圏内に籠城して自分ひとりよがりをしてゐる事である。大に襟度を大にして自分の不明な處は遠慮なく先輩に質すがい。特に師範學校の卒業生に質すべきである。一寸教を乞へば直に了解することゝグズ／＼苦んで無駄な時間を費すことが多い。檢定受驗者の最も苦しむ學科は大體に於て技能科と數學理科であうと思ふ。かうした學科は先輩から指導を受けるに限る。理科の實驗とか體操科の競技や技術は特殊の天才を除いては獨學困難なものである。一寸したコツは書物ではわからぬ。

5、技能科を練習せよ。

檢定出身者は概して技能科に不堪能である。受驗中は勿論合格後と雖も技能科の練習を怠つてはならぬ。檢定出身者が初等教育界に成功せぬのは主として世間を知らぬ事と圖畫、體操の如き技能學科に於て師範出身の教員に劣るからである。それさへ無くば學校出は恐るゝに足らぬ。

二、小學校に止る人と文檢をとる人

人間の價値から見れば小學校教師必ずしも中等教員に劣れりとせず、中等教育に優つてゐるとは云はれぬ。従つて本人の向不向に依つて或人は一生涯小學校に止り、或る人は一刻も早く文檢をとるべきである。文檢のことは今は姑く措くとして、小學校で成功しやうと思ふ人は十分師範出と對抗するだけの實力と識見とを持たねばならぬ。従つて本正に合格したからとて安心してはならぬ。大體に於て檢定出の重きをなさぬ所以は一つは母校の背景から同窓の援助やらが乏しい譯であるが、單にそのみではない、學校出に比して誠に態度が偏狹で他人と相容れぬ癖をもつてゐる。自分よがりをして他人の態度を侮辱する傾がある。技能科が下手だ、世間が狭い、かうした態度を除くことに依つて、たとへ學校を卒業せぬ人でも十分小學校教師として成功することが出来るのである。

三、受験生の衛生

受験生は特に健康に注意しなければならぬ。受験者は大抵時間と物質に餘裕のない人が多い、故に境遇の悲哀と戦ひながら過度の勉強をする爲め、往々健康を害する人がある。之は決して無理もない事である。斯くの如き獨學を以て身を立てんとする受験者諸君に充分の健康を要求するのは、受験の苦勞をしたこともなく斯る經驗のない者の言であるかと思はれる、目的を貫徹する上にはどうしても多少健康を犠牲にするのは止むを得ないことであるが、茲に健康を以て試験合格の要素であるといふのは、所謂試験前日の徹夜の勉強の如く平素苦心慘憺の結果を示すべき大事な試験當日に自分の實力を遺憾なく表はすることの出来ぬやうな不衛生をするなといふ意味である。

如何なる人でもそうだと思はれるが實際試験前日の如きは氣ばかりあせつてちつとしてゐられないうやうな氣持がする。又多くの受験者が大抵殆んど徹夜の有様で讀書したり、種々研究したりしてゐるのを見ると自分ばかり悠々と寝られないやうな氣がする。そこで徹夜をし自然不衛生の生活に陥る様な結果になるのであるが其の効果は甚だ少い。否寧ろ害がある、こんな無理して効果のあらう筈もない、必ず反動が来る。試験當日は前夜の睡眠不足で頭腦不明快となりために問題の意味を取りちがへたり答案を繰り落したり答案の出すべき分と反古とまちがひたりとんだ失敗を演ずる事

がある、故に大に考へ物である。平常の勉強でも夜十二時以後の勉強は全く考へ物だ。然し夜は周囲も静であり頭腦も明快になるので勉強家の常として何うも夜おそくまでやりたがる物である。人に依つては夜十二時以後になると全く眼が冴えていつ迄起きてても平氣であるから遂々夜更をすると云ふけれどもこれは健康を保つ上には甚だ害のあることは云ふまでもない事である。獨學で成功しやうとする人は大抵學校か役所か其の他どこかに勤めてゐる人が多いから朝は又人並には起きねばならぬ。出勤も人におくれないやうに注意しなければならぬ。勤務時間に前夜の睡眠不足のためには仕事が出来ないとか勤務上差支があるとかとなれば一層注意を要することと思ふ、大局から見れば決して憐れな勉強の仕方ではない。頭の經濟から見ても健康の上から見ても甚だ有害である。

受験者は時間の許す限り運動をして常に元氣旺盛なる態度にて勉強して何事も氣力を以て征服する意氣は常に持つべきであることを忘れてはならぬ。運動の種類は各人の趣味と體力に依つて選擇し最も短い時間にて最も効果のある運動を選ぶことは必要であるがあまり過激の運動はよろしくないと思ふ。運動の選手になるとか或は運動そのものが目的であるのとは運動の性質がちがひ單に勉強するに堪え得る健康體を養成するための運動であることは云ふまでもないことである。けれども

時には運動の面白さにはまり込み勉強の時間をそがれ又あまり疲勞したために勉強が出来ないやうなこともあるから十分注意すべきことである。

試験場に於て發病したり卒倒したりするのは前夜徹宵して勉強した爲め睡眠不足と過激の疲勞から腦貧血を起す者や消化不良の爲め吐瀉する者や逆せて頭痛する者などが多いやうである。

試験の當日は平常よりも少し早く起床してすべての時間に於て十分の餘裕を持つことは其の日の成功の第一歩である。朝の手水も念を入れてすが、しい心持で活々した態度で試験場へ出掛けるがよい。試験開始二十分前位には試験場に參着してゐなければならぬ、あまり早くから試験場に到着して開始時間を待ちあぐみ退屈するのもよくないが時間一ぱいに試験場へかけ付けるやうでは時間間に於てそれだけ後れをとつてゐる譯である。其の日の試験成績の良否にも深く關係することは當然である。試験當日は讀書することは勿論よくないが雜念を去つて無念無想の平靜なる精神状態で試験場に向ふことは極めて有利な試験成功の一策かとも思はれる。受験者控所でいろ／＼研究するもよいがあまりあくせくしてゐるやうでは試験も覺束ない、要するに透徹した頭腦を以てあせらせまらず落着いた態度で試験に臨まれることが肝要である。

又試験が終了したからとて急に精神を緩ませ不攝生のごとは絶対にやらぬやうに注意してほしい
試験合格までに数年間鞏固なる意志を以て築いた習慣を一朝にして破壊するやうな愚のまねをせぬ
やうに注意されたいものである。(終)

十、合格者成功の談

英語科合格記

小生は昨年兵庫縣に施行された小專正検定に應試して幸ひ合格者の仲間入りを成し得た一老生であります。

私が此の試験を受けて見んと思ひ立つたのは、願書締切日までには餘す所僅かに十日程でしたので、早速願書提出當日より、試験までの向ふ一ヶ月間餘、之が準備に没頭する事にしました。何分年齒已に人生の半を過ぎんとし、加ふるに先天的に愚鈍と來てゐるのでこんな微々たる試験にも一方ならず準備に骨を折りました。

元來私は筆不精にて小學校卒業以來一度も文を作つたこともなく、練習した事もないので、文意の明晰を缺く點が多々ありませうけれども、其邊は賢明なる諸君の御判讀を乞ふとして、之から私

の受験上に就て感じた事柄を少し書かして頂きます。幸ひ此が後進者の諸君の参考にもならば之に過ぐる幸甚はありません。

十月十一日待ちに待った試験は愈々今日となつた。受験に必要な文房具類携帯品等は昨夜よりチヤンと用意してあつたので、疾く起きるや否や先づ身體を清め氏神に参拜し朝飯を済まして車中の人となる。兵庫から姫路驛迄約一時間半程タイムがあるので車中教育大意・教授法等不安な所をザット目を通し英語の單語の暗記に掛らうとした時、列車は姫路驛に着した、そこで忘れ物のない様に注意して下車し目ざす試験場に赴く。途中いつもながら壯麗なる白鷺城の天外に巍然と聳えたるを右に見つゝ、うねりうねつたチヨロ／＼と流るゝ小川に沿ひて試験場に入れば未だ受験生の姿は一人も見えない、それも其の筈試験迄にはまだ一時間餘ある、で携帯して來てゐた英單語を暗記してゐると三々五々受験者の姿が見えて來た。さうかうする中に試験場は受験者で一杯になりあちらこちらで受験の話で賑かであつた。待つこと久しくして授業の鐘の響が校内に鳴り渡つた、すると髭をボー／＼とはやした殿めしさうな一試験官が各指定の席に就く様命ぜられました、一同席に就くと答案に關する注意が與へられた。筆記試験は八時より十一時迄、午後一時から口頭試問が施行

された、配付された問題を見ると解し難い難問は見受けなかつたが只一番の *collaborator* と云ふ單語を忘れてゐただけで一番の問題はドウチャラ意味を漕ぎ附ける事が出來た、二番は簡単な英詩にて之も無難、三番は一番の問題より自動詞と形容詞節とを指摘せよとの問題であつたが、形容詞節を形容句と思ひ違ひしてトンダ失敗をした、四番は英作文にて中學英作文教科書にありさうな問題之は容易に片附けた、五番は日常よく用ひられる單語であつた。かくして筆記試験はドウチャラうまく行く様に思はれたが、それでも他の受験者の譯の仕方と對照して全然異つた所があるので如何と案じたが、マ、ヨ之で失敗すれば之をしほに捲土重來の意氣を以て次回に於て月桂樹を手折らんと決心致しました。

午後から口頭試問が始まつた。一人宛教室に呼ばれて讀方フォネティック發音及會話等に就て試問各人約十分宛テストされました。皆一樣に會話に閉口された様でした自分自己の經歷に就てエクスプレシヤンがどの位の程度まで出來るかを見るのでしたから小專正には一寸手堅い試験でした。幸ひ私は平素から英文のアプリケーションシヤンを書き付けてゐましたので大に助かりました。私は順位が五番でしたので早くテストが済んで校門を出たのは二時頃でした。

越えて十二月中旬學科合格の通知に接し引き續き實地試験も無事終了しました。爾來試験の結果を案じてゐました處漸く本年一月中旬新聞紙上にて合格者の発表がありました。それに依ると昨年度英語専科四拾五名中學科實地共合格した者は僅か二名にて其の一人と成る事が出来ました。

尙申忘れましたが昨年度の學科合格者は八名でしたが、實地で惜しくも落ちた者が六名でした、之で見ると實地試験は學科試験以上に重大視されてゐる事は當然の事です、兎に角實地では直觀教授即ち出来る丈五感を使用さして、兒童本位に活動させる事を眼目として兒童を善導して行く方法が肝要と存じます。一言此點を後進諸君の御参考にもと老婆心より一寸申し上げて置きます。

終りに諸君の御健在と奮闘を祈り、併せて合格の榮冠を獲られむことを切に望んでゐます。(一老生)

英語科受験記

一、英語科へ向ふ迄

私は小學生時代から教員として立つて行かうと云ふ希望を有つてゐたので、小學卒業後先づ最も容易な準備の準備にかかり、首尾良く之れに合格することを得た。かくする中に私は小學校教員もさることながら、進んで中等教員へ目ざす考へを起し、此の受験資格を獲得すべき必要に迫られた。依つて色々と先輩に尋ね、書物に調べなどして、最も準備上、手取早いものを選んで、小學校専科正教員受験を突破すべく決心したのである。

元來私は英語に興味を持ち、又此の科を得ておくことが將來の爲めにも良いと考へ、一路英語科へと向つた。

二、準備戦へ

そこで私は一層受験準備に馬力をかけ、一切の雜念を去り餘事を抛つて、専心不亂に精根を傾けて勉強に日を送つた。惟ふに私の小さな見聞と淺い経験では、此の専心と云ふ事ほど受験に効果のあるものは無いと信じてゐる。

日が経つに従つて、自分乍ら一歩々々と確實に把捉出来ることを知つて、益々愉快と熱心とを増

し日夜精勵した。もとく／＼ABCの發音さへ十分でなかつた私には、此の英語學習は、可成りの重荷でもあり、且つ多大な精力を要した。

先づ教科書として「インターナショナル、リーダーズ」卷一より卷五、神田氏著の「ニュークラウンリーダーズ」卷一より卷五を選んで、速成的に勉強を繼續した。此の外参考書も讀めるだけ讀み、文法も可成り力を注いで成した。

獨學者としてはリーダーの他に、どうしても参考書が必要と考へる。單語集もよい、模範解答集も力になつた。又試験問題集等も随分多く見た、本正、尋正、専檢、その他の英語問題を出来る丈多く見て、自分で必要と思ふ所は答案式に解答して、先輩にも友人にも見せて批評して貰つた。之の方法も大いに力あるものと思ふ。尙参考の爲めに受験の用意とでも申すべきことを述べて見ます。

三、英語學習法

(1) 英語學習に於ては絶対に速成は駄目であるといふ事を知つた。之れはよく最初に知つて置くべ

きで、太く短くといふ方法でなく、細く長く根氣良くと云ふ風に間斷なく水の流れる如く反覆練習をするが良い。

(2) 單語を豊富にすること、之れ亦第一則に劣らぬ要件で、英語科研究生は此の點に心を留めて欲しいものである。慢心は禁物である、單語を潤澤にする事は英語受験の要訣と心得て一つでも多くの單語を知つて置くが得策である。

(3) 耳の練習と共に書取の練習も充分にして、又暗誦を盛んにやることも怠つてはならぬ。

(4) 参考書は、濫讀は不可である。如何に多くの参考書を購つても勉強の方法を誤つては駄目である。故に精讀といふ信條の下に定評あるものを求めて之に頼ること、妄りに参考書を多く求め之れの亂讀は眞面目な勉強を妨げ結果を悪くする虞がある。殊に初學者に此の種の弊がある様であるから注意を要する事と考へる。

四、愈々・受験

試験の前日、必ず合格して見せると云ふ決心を有し乍らも、些か不安の胸をかゝへて、汽車にゆ

られ、受験地へ乗込んだ、愈々戦場へ着いたのだと思ふと、爾が上にも士氣百倍し、戦闘氣分が漲る。成るべく試験場近くへ宿を定め、試験場たるK師範へ下検分と出掛けた。矢張り同志らしい二三の者が居つた。宿に歸つて、明日の成功を胸に畫しながら、靜かに過し、寢についた。

床の上に起きるや、何故か昨日と異つた、戦に臨む戰士の氣分に満ちてゐる。

試験場へ着くと、もう同志が續々と詰めかけてゐる。英語科は二十數名であつた。

文法には少々難んだが、他は大したこともなく、合格點に入つてゐると確心し乍ら、一日の戦を終つて同志と共に試験場を後にした。しかし、矢張り一抹の不安はある。かくして幾日かは過ぎた、

某日、合格の報に接し、此の不安は一轉して勝利者の愉悅感に變つた。

實地も濟んだ、榮冠は我が頭上に在つた、約半歳の苦闘も酬られた、自分の努力が、甲斐あつた事に對して、天地に感謝した。

が未だく／＼難關がある。文檢が控へてゐる。獨學者諸君よ、獨學者の武器は努力奮闘の四字である。此の武器を以てせば、何の恐るゝことも無い。最後に御健在を祈つて筆を擱くとしよう。(松村生)

英語科口述試験問答

本年京都師範に行はれた専正英語科の檢定試験に應じた者であるが、此方面に準備を進めて居る方も少くなからう思ひ、拙い筆をとることにします。斷つて置きますが、私は某乙種學校を卒業したものであります。

何故自分は専正を選んだか、第一に試験科目が少いこと、加ふるに文檢受験資格が得られ、専檢や高檢に貴重な時間を費すことなしに、文檢志望の私にとつて直接に目的に突進することが出来るからです。

準備としての参考書は、英語通信講座(研究社發行)、クラウンリーダー四五、教育の方は乙竹著教育學教科書、小西長田共著最新各科教授法です。指定参考書としては篠原、小川、佐藤共著教育學と教授法、英語の方はチャンピオンリーダーと鹽谷著スクール、グラマーとしてありましたが、會計が許さず有り合せて濟ませました。

教授法といつても英語科だけですから、皆で五六頁です。

試験は筆記と實地とに分れ、八時から正午迄で外に高等小學卒業以上の學力の無い者には修身、國語、算術について簡単な試験があります。筆記試験は三時間でした。問題は省略します。筆記試験が済むと、實地試験にうつりました。第一に書取ですが、始めに一度試験官が讀まれるのを聞いて、二度目に書取るのです。最後にも一度讀んで貰つて、三分間の猶豫に訂正して出すと云ふ忙しさです。

それが終ると一人々々試験官の前に呼び出されて口述試験をやられるのです。以下その問答です。「試」は試験官の問、「答」は小生の答へです。

先づ試験官は「チャンピオンリーダー」の四の「Shakespeare's Hamlet」の所を約一頁示して、

試「此の所を讀んで欲しいのですが、若し必要でしたら三分間待ちますからお調べなさい、——はい、讀んで下さい」

可成り固有名詞が多かつたので幾度もどもりました。

試「よろしい、シエクスピヤについて何か知つてゐることがあつたら云つて御覽なさい」

答「英國の文豪で、誰かと英國は沙翁を失ふ位なら其の領土を全部失つてしまふ方がましだと云つ

たことを覚えてゐます。劇作家です」

試「よろしい、それでは、boughtとboatとは發音上違ふ所はありませんか」

答「ありません」

試「BoとBawとは」

答「ありません」

試「それでは、*th*と*ts*との「*th*」との發音の差は」

答「*th*は強く、*ts*は弱く發音します」

試「單に強弱の差だけですか」

答「*th*は母音で、*ts*は父音」

試「母音と子音とはどう違ひますか」

答「母音は口腔から自由に出る音ですが、父音は例へば一時せき止められて破裂するとか摩擦を生ずるとか兎に角障害を受ける音です」

試「よろしい、子供に教へるのに發音上注意すべきことはありませんか」

答「あります、ハと」等です」

試「どう発音すればいいのですか、又注意しない時は児童はどんなに発音しますか」

答「ハは上歯で下唇を噛む様にして発音します、」は舌尖を上の前にあて、聲を發します、ハをロと發音したり」をロと間違へたりします」

試「よろしい、お歸りなさい」

以上で口述は済みました、何を云つても獨學生に最も困難なるものは英語です、況んや Reading や Hearing に於てをや、望むことは、出来るだけ外國人の宣教師の説教を聴きにゆくとか、學友と一堂に會して、

English-Meeting を開催して大いに氣焔をあけるも一興であり、力となると考へます。(京都一加茂川生)

商業科にパスして

私は兵庫縣施行商業科専科正教員檢定を幸ひパスしたものである。次に目ざすは實業學校檢定試

驗商事要項科である。世にも私と同じ志望を持ちつゝある諸士に對し、少しでも他山の石となり又此の種記事の少き故を以て左に私の受験記を認め多少の参考に供せんとするものである。

試験の状況

四月某日……今日檢定試験の願書を提出すべく神戸市役所へ出頭、願書・履歴書・身分證明書・小學校卒業證明書と共に試験料二圓を添へ差出す。願書締切りの最後の日であつた、願書を出して始めて本氣に準備に掛かる氣になつた。筆記試験迄には未だ一ヶ月はある。

五月十一日……午前七時家を出る。郊外電車で十分、試験場たる御影師範到着、八時愈々試験開始、一堂の中には、本正・尋正・專正等の男女の受験者が緊張裡に筆を走らす。自分に配布された問題を見ると次の様な問題であつた。

- 一、商品賣買取引に於ける品質に關する條件を擧げて説明せよ。
- 二、共同海損の成立要件を述べ且共同海損を生ずる主なる場合を列擧すべし。
- 三、左の事項につきて説明せよ。

- イ、カルテル
- ロ、赤船荷證券
- ハ、信用狀
- ニ、再保險
- 四、左記取引を仕譯すべし。

イ、運送中の貨物をその船荷證券にて買取り此の代金五千圓也を小切手にて支拂ふ。

ロ、右貨物到着し船荷證券にて之が引取りをなし陸揚倉入諸掛金貳百圓也現金にて支拂ふ。

五、決算を正確に行ふ爲めに必要な棚卸整理事項を列舉すべし。

六、見學及び實物教育の商業科教授上の價値を論ずべし。

一通り目を通したが總て商事要項中一般的な所謂試験に出さうな問題のみである。大要は書けさうな氣がする。以上の問題の如きは商事要項の中等學校教科書を始めから終り迄讀破した者は大概書けやう。簿記の問題にしろやさしい問題だ。第六問の「教授法」の問題は一寸頭を使ふ。此の一回で眞の意味に於ける受験者の腦力の試験になるかも知れない。自分は先づ第一問が不勉強のた

りで見當がつかないで後廻し、第二問はよく記憶してゐたので大體完全に書けた。第三問の中カルテルは現今重要問題として論議されつゝある問題で一通り説明した。赤船荷證券之は甚だ小さい？問題だが自分はこの事あらんとよく讀んでゐたので充分に書けた。信川狀、再保險この二つは餘りに何人も重要事項として注意する所のもの、先づ無難であつた。簿記も非常に易しかつた。第六問は時間に餘裕なきを知り、充分自分の所見を述べつくし得なかつたが、教育學及教授法又はその他の商業教育に關する所説を通讀して置いたので之等を組合はして大分書いた。終りに後廻した第一問に手をつけたが、遂に想起し得ず時間もぎり／＼になつたので簡単に想像で書いた。書き終りて再讀訂正すれば既に時間が來てゐた、十枚程の紙上に書かれた答案によつて各自の實力を試験される譯だ。今日の成績を顧みて第一問の不出來の爲め大なる不安を抱きつゝ十二時前歸宅。

七月十日……思ひがけなくも本日縣廳より筆記試験合格に付き來る十三日實地教授試験を施行するにより出頭すべしとの通知を受け妙からず驚いた。實地試験とは少しの經驗もなき自分には大なる恐れを感じしめる、運は天に任せよと再び復習に取り掛る。

七月十三日……御影師範附屬小學校に着く、問題は高等科二年生に教授すべき教案の作成を命ぜ

らる。教科書により約束手形の説明につき時間三十分を以て教案を作る。教案の作成は或經驗者より大體の注意を聞いてゐるため至極樂であつた。九時より兒童二十名を前にして約束手形の支拂期日及裏書についての説明をする、何分にも生れて始めて先生たる形式に置かれた自分は幾度か汗をふいた。試験官の顔のみが大きく目に映る。またよくまに三十分は過ぎ去つた。何をシヤベツタやら自分にも分らない。興奮した面持ちで退場、後から平靜に歸りてあれもこれも言ふ筈だつたがと思ひ出すが後の祭りだ。かうした事は何よりも人をのんでかゝらねばいけないと思つた。筆記試験受験者は三十幾名だつたのが今度の實地試験には十名程だつたさうだ。内幾人がアツバレ合格の榮譽を贏ち得るのだろうか。自分は願ひて心細い。

八月十一日……今朝の神戸新聞を手にすれば、「教員檢定試験合格者の發表」と出てゐる。息を殺して専商の項を見る。意外！自分の姓名が確かに出てゐる。さうであつたかとの一言で一瞬に走馬燈が頭の中で急廻轉した。

試験の模様はさつと以上の如くである。

準備方法

次に準備の仕方は如何にすべきやの問題は甚だ簡單である。即ち次の書を精讀すべきだ。

一、甲種程度商業教科書上下内池、阪本著

右のものか或は佐野氏著商學提要かの何れかを丸暗記する程度に讀めば大丈夫である、さうでなくとも、四五回も繰り返せば結構であらう。次に簿記は

二、甲種程度簿記教科書上下、吉田良三著

之も大體讀み、仕譯の問題に力を入れ尙棚卸貸借對照表の作り方等につきて注意すべきだ、次に教授法及教育學大意に就いては

三、師範學校教育學教科書及教授法教科書を通讀し、應用の利くべき方法に研究し更に

四、商業教育論、加藤正治著

五、小學校令中商業科に關する事項

等に就き必要部分に目を通せば可なるべし。

私は教育學の參考書には「教育大意伊藤千眞三著」を使つた。

要するに以上の諸書を毎日二時間宛三ヶ月も時日を消費すれば充分なる準備は出來るものだ。又この方面の經驗者につき豫備知識を得れば鬼に金棒であらう。只この試験は筆記試験の後實地教授の試験を行ふものなれば、教案の作り方及如何に話し方をなすべきかを研究するの必要があらう。

幸ひ私は合格者八名中の一人に入るを得たるは眞に雑誌「受験生」の刺戟に依る所多く、深甚の感謝をさぐるものである。將來に於て再び第二段の實業教員受驗實記を書くの機至らん日を期するものである。

終りに臨み同好の士の以上私の推奨する道に精進する上に於て幸ひ僅少の参考ともなれば幸とする。(T A 生)

商業科準備より合格まで

一、受験の動機

私は初め辯護士を志しましたが成らず、敗殘の病軀を恩師の御厚意で郷里の小學校に一年餘り教鞭を執りました、而して小さき天使と共に暮らした一ケ年は舊に倍する體力を與へてくれました。依つて二月から思ひ立つて四月に福井縣で受験して見ましたのが合格した様な次第です。同じ道を進まれる諸君の御参考にも私の體驗を書いて見ることにします。

元來私は小學校の訓導が目的ではなく、文檢の受驗資格を得んが爲めに受けたに過ぎませぬ、従つて準備も長くかゝつて居られない事情にあつた爲に幾分無理のあつたことは事實です。

二、準備用書

準備用書として私は左のものを見ました。

佐野善著作 商學提要 上下

内池坂本著 商業教科書 上下

吉田良三著 近世商業簿記

乙竹岩造著 教育學教科書

合格成功者の談

同 各科教授法

右の七冊は何れも教科書ばかりです。他に参考書は一切見ませんでした。種々な参考書を列挙する人がありますが、小學校專正には不必要です。私は右の七冊で充分でした。殊に佐野博士の提要は文檢の中心書として重寶とされてゐる位ですから、内容の如き專正には程度が高過ぎる程であります。

三、準備方法

受験準備としては、何しろ二ヶ月しか無いので最も經濟的な方法を選ばなくてはならなかつたのです。そして

- イ、理解し得るまでは先に進まないこと。
 - ロ、一節を終る毎に自問自答すること。
 - ハ、徐々にしかし確實にやること、
- の三ヶ條を標語として着々準備して行きました。

商事要項や教育學は書物だけでもよろしいが簿記は實習を伴はないでは駄目です。又書物にある練習問題は必ず自分で遣つて見る必要があります。

一日の中に自分の仕事が一時間あるので、此の八時間を商業三時間、簿記三時間、教育二時間の割で、三月の末まで一通り終る事が出来ました。

四、答案の練習

準備に際しての答案の練習と云ふことも又大切なものです。人によつて此の最も重要な、答案練習をすることの少い者がある様ですが、合格の秘訣とも云ふ可き答案練習を怠られない様に御注意申します。私は最近数年間の高商入學試験問題及び專正の問題を約二百七八十解答を試みたので、思ふに私としては此れは大いに得る所多かつたと信じてゐます。

五、試験の状況

六時間も汽車に揺られて目的地に着いた時は半病人の有様でした。取り敢へず驛前に宿をとつて

戦場を檢分に出掛けました。歸るとすぐ寢について疲勞した身體を休めました。

翌日、試験場である福井中學へ出掛けますと、もう大分集つてゐました。僅かの時間を惜んで、血眼になつて机にかざり着いて居る人もありましたが、私には賛成出来ません。私は出發の際にも何等書物を携帯しませんでした、只頭を混亂させるばかりで効果の無い事を知つて居たからです。

午前は商業學と簿記、何うした事か簿記は出ませんでした。

一、營業保險料とは何か。

二、左の語を解釋せよ。

(イ)商業革命 (ロ)コールマニー

其の他一題でしたが記憶しません。午後は教育で、

一、商業科教授の目的如何、

二、商業科教材選擇の標準如何、

の二題でした。

商業科の一、二共佐野博士の提要に詳細述べてありますし、何れも答案練習の中にあつたのです

から占めたもので、充分惡筆を走らせたものです。

教育科も無難に終つて確信を抱いて歸宅することが出来ました。

越えて七月下旬合格の通知に接しました。不完全な準備、粗雑な答案に對して合格點を下さつた委員先生方に感謝いたします。

要するに此の科の如きは廣い智識を要求されるものでなく、甲種商業の教科書や師範の教科書を確實に理解されて、其の上に充分の答案練習を積まれたならば、合格は確實なものであります。小檢は頭の問題ではありません。努力の問題です。

終りに同好諸君の御健闘を祈ると共に、此の受驗記の些かなりと役立つ所があらば幸甚であります。(中川生記)

專正農業科に合格の記

私の如き淺學者が教員としての基礎を作り、合格までの受驗の實際を、幾分なりとも諸兄の御參考ともならばと思ひ、左に項を分ち述べて見る事にします。

一、尋准合格まで

私は農家の長男ですが元來身體が健康でない爲、決意して小學校教員たらんと志し、大正十五年五月尋准養成講習會に入學致しました。期間は三ヶ月ですが五月六月七月で農家の多忙時に際して居ました。家の多忙を振捨て、準備にのみ全力を傾注することが出来なく、學校から歸ると農事を手傳ふの止むなきに至りました。午後七時から自分の時間になり豫習を致しました、その時間が三時間、豫習に二時間復習に二時間と豫定致しました、朝は五時半から七時半まで豫習をして學校へ行きました。

二、時間割を豫定して

又私は時間割を豫定して之を作製して準備を正確に致しました。時間割を豫定作製することは受験合格の第一條件と確信致して居ます、規律的に三ヶ月は準備に追はれて、八月尋准臨時檢定試験に應試致しました。

三、問題を熟讀せよ

初めての受験故胸がドキドキ致しましたが五分間計り眼を開ちて居ると心が落付きました。配付された問題それは可成難しい物でした、先づよく問題を熟讀し而して後ペンを取りました、問題の熟讀それは受験合格の第二條件です。四日間で試験も終り發表を待ちました、不安の日も過ぎて發表となりました、自分の名の新聞紙上に見えた時うまく行つたなと思ひました。尋准受験合格は難くはない、参考圖書及其の他は省略します。

四、尋正國科合格と農專正合格

尋准に容易く合格致したので心に幾分ゆるみが出たのか、第一回受験は地理科歴史科のみ合格といふ大失敗でした。そこで其の失敗の原因を考察致しました。第一尋正の程度を研究せざりし事、第二準備時間の少なかつたこと、第三受験科目多過なりしことでありました。

この失敗により尋正の受験科目は四科目位にしてひろく深く研究すべきことと云ふことを悟りま

した、で今回は専攻科目を四と決定致しました、それは教育科修身科國語科理科でした、今度こそは確たる收穫を受べく大正十五年二月に準備を開始致しました、始は全教科書を通讀すること五六回、次に出題を豫想し特に力をそこに注ぎました。やはり受験の原則(私の)として時間割も豫定致しました、それから各府縣の尋正の問題を集めてそれを解き力をつけて時の至るを待ちつゝ準備致しました。同年四月或る人から農專正を受けてはと奨められ、その氣にもなり尋正の準備の傍ら農業をも併せて研究することになりました。此處に時間割を變更致しました。勉強時間は往復に一時間、授業後三時間家庭にありて三時間合計七時間、鉢巻で字引と首引をしました、暗記にふけりました。受験期日は六月中旬でしたので六月に入ると全科目の總復習を致しました、今度は準備も出来たし稍自信もついたので安心して應試致しました。尋正受験後三日目に農業の檢定試験も行はるので自信なき農專ではあるがと思ひつゝ之にも應試致しました。發表日も至つてその成績はと見ると尋正は豫想通四科目合格その上豫期せざる農專まで合格致して居りました。此の成績發表と同時に専攻科目を少なくそして深く研究せよと云ふ言葉の至當なることが痛切に感じられました。かく六月の試験檢定は以外の好成績でありました、勝つて兜の紐を締めよの古語の通り餘す四科目算術科圖書科

體操科音樂科の合格を希ひつゝ準備に着手致しました所が、私の勤めて居る學校に種々の催が毎月ありましたので準備が思ふ様に出来ず自信なきも應試致しました。發表になりますと圖書科體操科は合格、算術科音樂科は群馬縣出願の際は試験を免ずとの得點を付與せられたのでした、かくて私は尋正學科全科目の合格を得ることが出来ました。けれども教育科實地授業で殘念ながら落第してしまひました、教育科實地授業法は要するに材料の豊富、それが合格の第一條件の様に思はれました。

以上の如く私の尋正受験は平凡でした。異彩は放ちませんでしたけれども勉強法には研究を要しました。

五、勉強法と合格の秘訣

之を要するに私が教員としての基礎を作るまでには勉強に於いて十人並以上の努力と節制ある生活に甘じて居たのであります。私の云ふ勉強法とは讀書暗記のみではありません、如何にすればより以上早く收得出来るかと云ふ研究をも含有して居るのであります。

受驗の一大眼目は合格なることは今更改めて特筆する要はないが、その合格は如何にせば早く得らるゝかと云ふ研究も肝腎です。

合格の秘訣は第一試験場で落着くこと、第二問題を熟讀すること、第三熟考して書き出すこと、第四よくよみかへして出すことにして、準備にては専攻科目を制限して深く研究すべきことであります。

六、農專正は難くない

農專正は難くはない檢定である、理論と實地の試験なりでありますから参考書を研究すると同時に實地には相當研究を要します。出題は理論に於てはよく肥料土壤飼料經濟から出る、實地は菜類の鑑定肥料昆蟲バテリアの鑑定中耕ひえ拔等です。

尙、最後に卿等の奮闘と健闘を祈りつゝ稿を閉づるに際し、此の受驗記が兄等の参考ともならば喜びとする所です。(田口生)

農業科合格記

一、私の履歴と受驗の動機

私の生地は利根川畔にある。而も大正十四年頃迄は周圍が河を以て包まれた僻村で文化の程度が低かつた。だから中等學校などに進む者は毎年一二名に過ぎなかつた。私は高等小學校卒業後上級學校入學を懇願したが許されなかつた。それでも大正十年には三里許り離れた乙種農業學校を卒業して、家事に勉めてゐた、丁度十三年六月村の代用教員として小學校に奉職した、奉職後は可成一生懸命にやつて見た、しかし「代用教員では何時まで経つても恩給にはならず、訓導でなくては」などと云はれるのが残念でならなかつた。其の時分から教員檢定を思ひ立つたのであつた。

光陰は矢の如しとやら、就職後二年の大正十五年七月尋准免許を無試験檢定で得た。其の中に職員同志の一人が尋正の一科目合格證明書を得たので、私も何か一つ受けて見ようと思つて勉強し初めた。

二、準備

乙種農學校を出てゐるので農業科専科正教員を志望してみた。

農専検定試験には教育大要、理論、實地並に教授法がある、私の讀んだのは教育學として乙竹岩造氏の「教育學」、「心理學」、「各科教授法」の三冊、農業理論は、横井、佐々木兩著「農業原論」三冊、尙ほ佐藤寛次氏著「農業教科書」三冊である、然しどちらか一方で好いと思ふ。各府縣に依つて指定の参考書があるわけだから學務課に問ひ合せれば分る。

右の書籍は精讀した、要點をノートに書いても見た。勉強の時間は一日二時間位、然し校務の關係等の爲めに勉強の出来ない日も幾度があつた。仲間の多くは終業後火鉢を圍んで談笑して、何んの心配もなく毎日毎日を送つて行くのに、獨り寂しくがらんとした教室の中での勉強、分らない教育學、心理學、随分辛いこともあつた。かくて準備に費すこと半歳、本年の東京府教員檢定に應試して見た。次に試験の様子を書くことにする。

三、受験

當日、早朝出發して午前十時頃試験場たる府下池袋の豊島師範學校に行つた。専正受験者約三百名、其中農業科は二十名位と思つた、午前は全部の教育大要につきて五十分、午後は前記二十名の者が理論約二時間半、三時半より實地について試験された。問題を参考の爲めに左に掲げよう。

教育大要

- (一) 教育上個人指導と團體指導との得失、
- (二) 文題選擇上の要件、
- (三) 教育上素質と環境との關係について、

理論

- (一) 土壤溫度を左右する事情につきて説明せよ。
- (二) 綠枝剪定の効果を記せ。
- (三) 肥料の反應と施肥上の注意につきて記せ。

(四) 澱粉價につき知る所を記せ。

(五) 蠶卵紙鑑定法を記せ。

(六) 教授法

次の教材を高等小學校第二學年に課するものとして教案を作れ。

肥料の配合一時間

肥料を配合するには之を施す土壤と作物とに依りて相違なかるべからず、これ土壤の成分の分量相異なるのみならず作物は種類によりて各養分の所要量を異にし之を吸収する力にも強弱あればなり。

實地

實地は室内に於て實習豫定表の作成と十種許りの種子鑑定を二十分許りでなし、師範學校の實習地に於て約一坪程の地を鋤にて耕起して人參を播いて、二三の質問に應答して一日の戦闘に疲れを覚えて歸路についた。

四、愈々合格

結果については豫想して見るに自信があつた。然し發表までは樂觀出來ない、失敗すれば又第二回だ、そんな考へで一ヶ月許り過した、所が七月十二日、身體検査の通知に接した。しめた、もう大丈夫、何一つ異状は無い、そうして九月十日、免許状を受けて、茲に約半歳に亘る苦心の賜として限り無き満足を覺えた。然し未だ我が前途には文檢が控へてゐる。

五、勉學上の注意

以上は私の受験記であつて、唯心に浮んだまゝを記したまでである、尙最後に農業科勉學上の注意を述べて見よう。

(一) 理論上から

少くとも農學として系統ある研究が必要である、餘り正確を缺いてゐる様では眞に兒童の指導が出來ない、小學校の本科は上級の兒童に課するのであるから、假令農業そのものは平易でも兒童の

學力は豫程まで進んでゐるのであるから、特に考慮して廣い立場から時代的に研究する必要がある。況して職業指導の基礎で少くも農村理解への第一歩の重大な使命を持つ意味に於ても爾あるべきである。現代に照應し、職業教育的の意味からも生産分配等を時代的にしかも經濟學方面からも種々研究して置きたい。尙關係した地理理化方面の力も十分補ひたいと思ふ。

(2) 技術上から

一地方の習慣等のみ心を置いて他を顧慮しない傾向があると思ふ。どうしても一般的に通ずる必要がある。常に農學校や農事試験場に就いて参考を求めたい。

(3) 教育學上から

技術の方面のみ研究して、教育學教授法を閉却する者が少なくないが、之は甚だ不完全な研究と言はなければならぬ。常識論のみでは到底満足な結果は得られないのであるから、師範學校用の教育學、教授法等によつて相當研究して置きたい。(茨城縣、KK生)

體操科に合格する迄

逆境を悲しみ、不遇に泣いて、ともすれば無味乾燥に陥り易い二ヶ年餘の準備生活に於て、受驗雜誌「受驗生」誌にうるほひを得、慰藉を求めてゐた私は、漸く合格者となつて免許狀を得た今日過去に於て師でありまた友であつた「受驗生」に對する感謝の念禁じ難く、幾度かためらひ乍ら、報恩の一にもと、更に後進者の参考にもなればとの考へで、拙い筆をとることに致します。

一、私の過去

小學時代から教員志望の私は高等小學の一年頃より國民中學會の講義録に學び、高等小學校を卒業すると、其の年の五月に教員最初の關門たる尋常科准教員の試験に幸ひ一回でパスとなつたので、同じ年の十月には次回の經驗の爲めにもと尋正を受験した處、七科目の佳良を得、昨年十月残りの科目を受けて、漸く尋正合格者の一人となつたのであるが、此の時の記事は省いて尋正體操科受驗記に移ります。

元來私は專正なんて全然考へて居なかつたが、小本正受驗の際に免除となるので、繁忙な小本正の準備生活に入らぬうちに片附けて置きたいものと考へて、受験した迄のことである。

二、受験生活

「下手の横好き」とでも云はうか、私は小學時代から運動は随分好んでやった、殊に競技ときては三度の御飯よりも好きで、近くの競技會へは何時も選手として出席した。

昨年春、教授要目が改正となつて、體操科にも競技が正課となつたので、必ず重視することゝは思つたが、競技の方は後廻しとして教練と體操とを準備的にやり始めたのが、寒風肌をつんざく三月上旬だつた。準備といつても師範の生徒の様な受くべき指導者もない私は、餘暇の見附かり次第、綿密な教授案をつくり、作文や圖畫の時間まで割いて實地教授をやり、又自分も都合よく練習した。かうして技能の準備も目鼻がついて來たので、三月下旬より理論の勉強を始めたのだつた。何分範圍の廣いことゝて参考書も其だけ求めねばならぬし、實際勉強するのに困惑した。使用した参考書は大體次の通りである、参考までに記して見よう。

(體操)

- 合理的學校體操學 今井學治著
- ◎學校體操要義 永井道明著

運動生理衛生學 吉田章信著

(競技)

- オリンピック陸上競技法 野口源三郎著
- ◎陸上競技の教授 佐々木等著

◎步兵操典

(教練)

- 陣中要務令
- 射擊教範

以上を中心として運動に關する書籍は見當り次第に讀破した。小本正の受験者は是非共これ位のものを読んで置かねばならないと思ふ。尙尋正以下の受験生諸子には◎印を附したものでだけでも精讀して頂いたなら充分であらう。

附帶科目の教育科は乙竹先生のが定評がある、私は尋正受験の際可成り精讀してゐたから此の方は別に準備勉強もしなかつた。幸ひ今年は教育の方からは訓練の意義位だつたのでよかつた。

三、受験の様

愈々五月二十四日に争闘戦は開かれた。午前八時より二時間の理論を終へて、午後の三時頃まで實地試験があつた。

問題は次の様なものだったが比較的容易の様に思はれた。訓練所の目的等近來の傾向として必ず重視すべきものではないかと思ふ。

(一)教育學上訓練の意義如何。

(二)體操科教材を分類して各その特質を述べよ。

(三)胸の運動の目的を述べ且つ「臂支持閉足胸後屈」運動の教授上注意すべき點を挙げよ。

(四)競技教授上の特に注意すべき點を挙げよ。

(五)青年訓練所教練實施の目的を述べよ。(以上二時間)

一は實に容易だと誰もが云はれた。二の分類には一寸困つたが教練、體操、遊戯競技、武道の四類に分けて簡単に特質を記した。後で委員の著書を見たら正に適中して居た。三は思つたまゝを書いておいた。四と五とは割合に容易だつた。

十時から愈々實地試験となつた。試験委員は男女兩師範學校の體操科擔任教諭と縣の體育主事と

三人である。自分達が試験場なる雨天體操場へ行つて見ると、丁度准教員の試験中だ、間も無く准教の方の簡単な試験が終ると、最初に教練を行つた。之は尋准の受験者十名ばかりを使用して、行進や後向、斜行進等各個教練の總てに亘つて示範させて操縦するのである。平素高學年を受持つてゐた私は、生徒に教授するつもりで成可く落ついてやつてのけた、かうして十名餘の受験者全部が終ると體操にうつつた。丁度雨天だつたのでバックや跳箱使用の跳躍運動位のものだつた。次には最後の競技である。准教の受験者二三名を連れて來て之に發走法、テープの切り方や投技のフォームを教授(高等科二年生程度)せよと云ふ。何しろ競技の隆盛の今日ゆえ、可成り重視してゐる様だつた。かうして最後に委員の批評があつた。

「もう少し研究されて欲しい」との委員の言葉は然るべきだと私は思つた。委員の命令した事項を完全に教授し得なかつたり、跳上、跳下や投技のフォームが完全に出來得ぬ人で何うして小學校に於て専科正教員として立つて行くことが出來ませうか、私としても、もう少し受験者として眞面目な態度が欲しいと思はれた。

四、注意すべき事

春雨の一日間の苦闘も遂に酬らられて、六月十三日縣報で自分の名を認め得た時、僅か體操一科目ではあるが、人知れぬ喜びがあつた。又、私の此の受験によつて、最も痛切に感じたことは受験者の服装である。手首まである袖の長い窮屈なシャツを着て、運動足袋すらはかぬ人にどうして完全な動作が行へやうか。

殊に准教員受験者に、こうした人達の多かつた事は始めてのせるもあらうが、教員としての一人物試験を受験されるのだと思つたならば、もう少し考へて欲しいと思ふ。ユニフォームとパンツや運動足袋位は何れの受験者も着用されるが好いと思ふ。帽子も求め得れば持参して来るが好いのである。要するに教師として耻しくない程度の服装を準備されんことを私は希んでゐる。

五、最後 に

體操科は何と云つても我々獨學者には困難です。然し、難ずるには當らない。絶えず讀破し、實

習する人には決して退歩は無いと思ふ、小專正の體操科位は決して難視すべきでは無い、只「怠らない事」これが合格の根本要件だ。

諸君よ、體操科難する勿れである。唯小學校に於ては、最も肝要な教科であるべき事を常に念頭に置いて受験されるやう、受験者諸君に一言注意を促してペンを擱くとしやう。(千葉縣、一合格者HK生)

音樂科受験記

音樂は人生を美化するものだ、人間の生活より音樂を取去らば「水なき砂漠を旅行する様なものだ」とは先哲の訓言である。

私は生來、小學校時代より唱歌を好んだ、しかし同輩は先生に叱られる爲めの時間の様に思ひ、一も二もなく食はず嫌ひで唱歌を避けたものだつた。自分が本譜を少々覺えたのは高等小學時代であつた、然し何分子供であつたので、今から考へて見るとお話にもならない。

斯くして高等小學校は終つた、不幸にして家庭の都合により上級學校に入る事が出来なかつた

が、忙しい中にも寸暇を見出して勉強した。時には母校の恩師を訪れたり、父母に質した結果は報ひられて尋准の検定に合格した。

幸ひに其時より小學校に奉職することになった。何分淺學の自分は何から言つても残念であつた。扱て一學級を受持つて見ると中々厄介なものだ、數學もあれば國語、理科、歴史、唱歌と隨分數の多いのに閉口した。

中でも自分に強いヒントを與へたのは唱歌教授だつた。これだけは闇に鐵砲どうして樂器使用なんて出來よう。とう／＼他の先輩に依頼してしまつた。然し自分の性質として慾望として、どうしても之れを見通し出來なかつた。以後専心先輩の指導を受けて、樂器（オルガン）の使用法を研究し出した。これがそも／＼自分の斯學に手を出した最初であつた。

然し論理を學ばないから先輩の言ふ其の音樂獨特の約束的言葉が分らない。此の時先輩の云ふには論理を一通り研究して、次に樂器使用にかゝらねば出來ないと言ふ、それからと云ふものは、もう無我無中、同時に又無闇に樂器使用は六ヶ敷いものだと思つた。

先輩は自分の熱心な努力に勵まされたものか、親切に教へて呉れた、以後は夜となく晝となく論

理の冊子を繰り返し／＼熟讀した。此の間にも放課後の餘暇などを利用して樂器の使用練習も怠らなかつた。朝の如きも他の先輩よりも、早く登校して練習に餘念がなかつた。

本譜の讀み方は少々素養があつたので段々と讀める様になつて來た。斯くして先づ一通り簡單な子供の唱歌が奏ける様になつた。以後更に一般の研究を必要と認め、其れより師範學校へ放課後又は休日に行つて、音樂の先生に直接教授を仰ぎ、又師範生の授業を參觀したりなどして研究を進めた。

此の間にも尋正受験の準備もやつてゐた、尋正受験者中にも此の音樂が第一の鬼門だと觀念して居る者もあつた。

扱て、實際受験して見ると果してそうである、あまり見事にやつてのけた者も無かつた、自分は幸ひにして好成绩で通過し、一般受験者の面前でお褒めの言葉迄頂いて内心努力の賜と深く感じ入つた。

音樂専科へ

其後音楽専科の受験を計畫した、然し何れの専科でもさうであるが、一つ専門になると又より以上困難なものだ、理論、實地のみならず、其れに教育大意、及教授法などと、だんく附隨して來て、いよく難境に入らねばならなかつた。此の時分になると一寸面白味も出て來て、だんく乗氣になつて來た。

昔からある「好きこそ物の上手なれ」と云ふが、自分は「上手こそ物の好きなれ」ではないかと思ふ。斯くする中に時日は経過した。考へて見ると専科は教授法があるのだと思ふと、自分の受持學級だけでは低學年及び高學年の實地教授が分りにくいと思へ、以後研究的に全校尋常一年から高等科まで、どの學年もやると言ふ調子で、まるで専科正教員に成り済ました様な顔で實地教授をやつた、そして先づ一通りどの學年はどの位の程度、又どんな風にやるべきものだと思ふ體験は出來た。これと種々教授法を書いた教科書を實地に參考して見て、研究の方便とした。受験に際して大切な要項はどうしても前回より出てゐる實際の試験問題を見ることである、又受験者の經驗談を聞くことである。此の二項は極めて大切なものである。

私は問題と受験記を受験雜誌「受験生」によつて得た、今考へれば「受験生」は無二の恩師であ

つた。

「努める者は必ず天も助ける」ものだといふ體験を得た自分は、後進の諸君にも怠らず努力することを呉れなくもすゝめるものである。(田中生)

手工科受験準備と合格談

(1) 受験準備

先づ私の探つた受験準備より申述べませう。元來私は圖書科を専ら研究して居りましたが、今春受験した手工科も、奉職してゐる学校の都合で、どうしても手工科を受持たねばならなくなつたので、それに免狀が無いと工合が悪い、といふ様なことから、急に思ひついて受験することになつたのです。

斯様に思ひ付いてから受験まで僅か一ヶ月半にも足らぬ準備でありましたが、木工具いぢりや、土こねが以前から好きでしたので、實技の方は餘りあはてずに、専ら理論に熱中しました。次に私

の讀んだ本を掲げて内容を一寸説明しませう。第一に

一、小學校教師用手工教科書甲乙丙丁 文部省發行

此の本は随分古い本で今ではもう改正の必要が有らうと思ふ位なものです。四冊中丁巻のみは、専ら木工金工の事が材料工具等系統的に、よく書いてあります。此の各種の工作法、木金工具使用法或は金屬木材の特質用途等は是非暗記して頂きたいと思ひます。そして本にある教材をかたづけしから實習して置く必要が有らませう。然し、いかに作品がよく出来てゐても、工具の使用が理論的でなかつたりしては駄目ですから、理論の方も共に熟讀應用されん事を希望致します。粘土細工は各冊の教材を練習し、植物の花などの寫生練習をしておいて下さい。次に教授法或は手工教育の大勢等を調べるには、次の書を探りました。

一、新手工教材及教授法 一冊 岡山秀吉著

此の本は實によく書いてあつて、小學校専科の受験者のみならず文檢受験者の是非必讀を要する本でありませう。第一章から第四篇までは完全に頭に入れて置いて下さい。

次に製圖ですが、之は各府縣に依つて課す處が有りますから之れも多少練習して置く必要があり

ませう。製圖と云つても簡単な工作圖位なもので、之れは岡山氏の著書にある工作圖をよく讀み乍ら實習を試み、製圖上の主な約束即ち何の場合には何の線、此の場合には何にと、よく記憶しておきます。

次は教育ですが之れは何れの師範學校のでも宜しいから教育教科書一冊を御覽になれば結構です。文檢の如く程度の高いもので無いから、大して驚く事もありますまい。先づ大體此の位の準備が出来たなら、受験しても宜しいでせう。

大體以上の通りでありました。右の中教育は私は圖畫専科の免狀を持つて居りますので書きません。理論の一番は岡山先生の本を一通り讀んで置けば充分、二三番は手工教科書にあり、殊に二番の問題など細かに書いてあります。(問題欄東京の部参照)實際に造つて見るより仕方がありません。其の中に自己のものになつて來ます。そうなればもうしめたのです。

(2) 手工科は一般向

私は、師範も出ず、中學も出ずに、身を教育會に投じ活躍してみたいと云ふ方々に、最も簡單に

資格を得ることの出来る専科をおすゝめ致します。就中、此の手工科は多くの科目中で一番一般向であると思ひます。音楽などはどの家庭にも樂器があるといふわけにはゆかず不斷の勉強に差支へますが、手工科などは、大抵の家には其の用具が備つて居るものです。例へば一寸した戸障子の繕ひや、棚造りなどを初めとして、いくらもあります。こうした木工作業を最も主要な試験學科としてゐるのが手工科なのです。私か此の科を特にお奨めする第一の理由も此處にあることを御考へ下さい。決して六ヶしいものではないと思ひます。唯之等の作業に用ゆる學理的な使用法、工作法を研究すればよいのです。

第二の理由としては、高等小學校の手工科が必須科目になり、手工科専科教員が必要になつたからです。そして比較的此の種の教員が少く、試験檢定に依つて、どしどし採用されつゝあります。故に今が此の方面に努力するに最もよい時期と考へられます。以上の理由で、私は、諸君の奮起を希望して居るものです。

大分とり止めも無く書きましたので、解し難いことゝ存じますが、此れで打切ることゝ致します。

圖畫科を突破するまで

片田舎の小さな町の商家に生立つた私は、大正十一年に高等小學を卒業すると、直ぐ官費の師範へ違つて貰ふつもりで居た。所が之を聞いた父は、細々と家庭の事情を話して、此の希望を斷念して呉れる様にと云ふ意味の事を云はれた。私は當時、折角の進んで行く路を遮ぎられた不満で懊々としてゐたが、考へて見ると、家計の豊かでない今の情態として無理もないと思ひ、當分小さな商賣を手傳ふことゝした。

しかし、どうしても教員になり度い一心は抛つ術も無い。かうなれば獨學でやる迄だと決心し、先づ中學講義録を購讀した。そして、其の機關雜誌の上で種々の受驗記を読まされ、小學校教員となる獨學方法も、わかつて來た。又受驗雜誌なども此の頃から取り、只管に教員受驗の記事を漁つて讀んだのである。

獨學にて獨力にて受驗に依て教員とならう。かう目的を定めて、未來の教員を胸に描いて微笑んだのであつた。そして、私は小學生時代から好きな道であつた專正の圖畫科を受驗すべく決意した

のである。尙此の決意を恩師である校長に話した所、いろいろ縣の公報など見せて呉れ、「君の爲には圖畫科が最適だ」と云つて呉れた。

此所で一寸、自分の自慢になるが、自分は他の學科は餘り上等でなかつた代り、圖畫は級中の誰にも負けをとらなかつた。展覽會でも優等成績を受けてゐた、こうした關係で私は受驗を目標けて、早速準備にかゝることにした。

先づ縣指定の参考書を買ひ集め、それに受驗記や受驗雜誌の上で知つた書籍も追々と取り求めて猛練習をすることゝしたのである。

幸ひ私の家の商賣は非常に忙しい事もなかつたので暇のある限り用器畫や圖案、果ては繪具と殆んど寝起する様に常に私の頭は圖畫のことから離れることが無かつたと云つて良い。中學校の圖畫教科書も片端から描いて見た。講義録の圖畫科の講義も随分役立つた。

其中、校長が、私の町から一里半ばかり離れた町の中學校の圖畫教師に紹介狀を書いて呉れ、私は商用の序に此の人を訪問し、理由を話した處、快く種々注意をうけた。それから日曜日には此のB師を訪問して自分の畫いたものを持參して一々批評して貰つた。

寒い夜など用器畫に熱中してゐる手がかぢかんで自由を失ふ程だつたが、受驗期の五月が追々と近づくに連れ、勉強時間が無くなるのだといふ懸念で、呑氣なことを言つてゐられなかつた。

その中に梅が咲く、櫻が咲く、世は春となつたが、受驗生は春をよそにして、火の出る様な準備戦の中にあつた。此の頃から教授法や教育大意なども一層念を入れてやつた。

父も母も、私の勉強には、どんなに仕事を遅らしてゐても叱言を言はなかつた。

参考書としては、阿部七五三吉氏の大成圖畫（師範學校用）、中學校用現代圖畫、用器畫の方は、山崎競氏の最新用器畫法精義や富岡氏の用器畫法新解などに最も力づけられた。

寫生は可成やつた、靜物を最も多く習つたが、これは平常大いに力を入れて置くがよいと考へる。或る人は素描の練習を多くするが一番大切だと云つてゐるが、之れもそうかも知れない。

考案畫、圖案も出来る限り研究した。問題集も見て置く必要がある。私は雜誌の上で問題を得て之に依つても相當練習した。

受驗については、問題も比較的容易く、非常な苦しみを味はなかつた。靜物の寫生だつたから時間前に書き上げることが出来た。用器畫も、やつてのけた、只理論の方と教育の方が六ヶしいと

感じた。

受験雑誌などでもよく書かれることであるが、受験については、落付くべしである。圖畫など殊にそうだ、あはてゝは好い繪は出來つこないと思ふ。落つてこそ腕を振ふことが出来る。

受験も準備が大へんなもので、準備さへ出來てゐれば、そう大騒ぎもない。私の考へるに準備の充分自信の無い中に、實際の受験に當るから失敗するのだと思ふ。

受験準備と受験とに疲勞した身體を父母の下に休養させてゐること幾日、結果如何を氣にしつゝ、月日を送る中、僥倖！幸運！捷報は齎らされた。長い間の苦戦であつたが、勝つて見ると流石に歡喜の聲も上げたものだ。

私は合格後、小學校へ奉職しようかとも考へたが、も一つ踏張つて進んで文檢を突破して見ようとしてゐる。云はゞ小專正合格は文檢圖畫科への一段階である。

再び私は準備戦を行ふのです。凡ては此の奮闘氣分で征服しようと思つてゐる、さらば後進の諸君、御健在なれ。(一寒村生)

裁縫科檢定合格記

私は新潟縣の裁縫科専科に應試し、幸ひにも合格したもので御座いますが、同じ希望を抱く諸嬢の御参考の一助にもと思ひ、次に受験までの經驗談を書いて見ることに致します。實際私風情のもの、受験の感想を書くなどは、少し生意氣かも知れませんが、前申しました通りいくらか役立たばとの思ひからペンを把りましたのです。

貧家の子として生れた私は、女學校は勿論のこと、高等小學校も行けませんでしたが、爾來三四ヶ年は夢と過ぎ昨年の四月、大日本通信高等女學校の講義録をとつて勉強をつゞけ、未熟な者で且つ月日も短く勉學の方もずつと遅れてゐたので、受験などは少し氣短かなやり方とも思ひました。でも裁縫科は仕立屋に通ひ、普通のものは習つてありましたので、思ひ切つて應試したのです。

参考書は小學校の先生にお聞きして、縣の指定のを調べて行きました。此れは各府縣で指定されたものを第一にやるのがよいと思ひます。唯私の馬鹿でしたのは、専科には教育の問題が出來ないものと思つて、其の方を調べずにゐたのです。試験二十日程前にA先生から教育問題があるといふ

事を聞かされましたので、早速教育を勉強しました。これは今更ながら自分の輕卒を後悔して居ります。

受験なさるお方は、せめて半年前にでも近くの學校へ行つて縣公報を見て試験に出る課目や参考書を知つて置く事が緊要だと感じました。

問題は非常に困難とも感じませんでした。實科女學校や、高等小學校を卒業の方は、午前の理論實地のみでありましたが、私の様な尋常科を出た許りの者は、更に修身、國語、算術の三科目を高等小學校卒業程度で試験をいたしました。問題を参考の爲めに掲げて見ます。

◎修身

一、利己主義とは如何なる主義か。

二、他人を愛するの道を問ふ。(以上五十分)

◎國語

一、イ 左の文の大意を簡單に記せ。

ロ ◎印の語は各何を指すか。

ハ ———— 線の部分の意味を各々に實例をあげて説明せよ。

一、「怒の最後の瞬間云々」の西諺は全文中において如何なる役目をなすか。

一時の憤怒を忍ぶ能はずして、一身一家を滅したるもの古今東西其の例に乏しからず。實に恐るべきは憤怒の情なり人怒る時は感情益々激するを以て言行自ら常軌を逸し冷靜の我に復りて後悔すること多し西諺にも「怒の最後の瞬間は後悔の最初の瞬間なり」といへり怒るとも直ちに之を言動に發することなく先づ心を冷靜にして然る後徐に之に對する處置を考ふべきなり。人を叱るにも決して怒るべからず、怒りて叱る時は言動自然に粗暴に流るゝを以て人我に服せど我自ら我が品位を下すのみ怒を遣さざるも亦頗る難事にして修養の至れる人にして始めて之を能くす。

二、左の歌を解釋せよ。

拂はずば千代の操も埋もれん 雪ふりかゝる園のくれたけ。

三、次の語句の意を問ふ。

(イ)伽藍、(ロ)喝采、(ハ)當意即妙、(ニ)逆鱗に觸る、(ホ)あどけなし、(ヘ)はぐくむ。

(以上五十分間)

◎算術

1. 口徑0.5米深サ0.8米ノ圓形ノ器ニハ幾立入ルカ但シ圓周率ハ3.14トセヨ。
2. 毎時15哩ノ速サノ船ガ24哩先ニアル船ヲ追ヒ漕航シテ追ヒツイタト云フ。先ノ船ノ速サハ毎時何哩デアツタカ。
3. 成人2割引ノ鐵道乗車券ヲ購ヒ4錢ノ通行税共4圓12錢ヲ支拂ツタ割引ナキ場合ニハ何程支拂ハバヨイカ。(以上五十分)

それから何事をするにも沈着が必要ですが、分けて試験は沈着にいたさなければ駄目ですわ、私なども落つてとは思ひつゝ、いざ試験場へ入ると、すっかりあがつてしまつて、日常はたやすい位の事が思ふ様に書けなくなつて後になつて残念で堪らないものです。

尙、少しばかり試験當時に感じたことを書いてお目にかけます。

(一)總ての不平不満や一切の悩みといふ様なものを捨てる事です。此等のものが成績良否に關係する事は非常なものです。

(二)試験場に入り問題を出されたる際に、その問題を讀誤らない事です、讀誤るといふ事は多く早合點をする爲でアア之かと思つても幾遍も讀む事です。

(三)次に問題の主眼點を見出す事。いくらくどくどしく長く書いた所で、それが試験官の心を満足せしむる要領のものでなくては駄目です、簡單明瞭をよしとす。

(四)定刻前三十分位に書き終る様にする。ともすれば答案を書き終へてすぐ差出す人がありますが、感心した事ではありません、再三讀んでから差出さねば駄目です、よんでゐる中に悪い所に氣付く差出した後で思ひ出し後悔しても最早や終局。

(五)ゆつくりとかまへる事。即ち膽玉を大きくすること。

(六)字は丁寧に書くこと、殊に裁方圖は明瞭に記し寸法(巾丈)を正確に記入のこと。

(七)試験場へは必ず合格出来るものとの確信の下に臨む事が大事で決して杞憂してはなりません又試験場での勉強は禁物で却つて頭を亂す許りです。

理想にとゞかすとも、理想に憧れる所に若さがあります。獨學の途上にある皆様の中には、自己の薄幸を歎いてゐる方もありませう。あゝ然し、その苦難の嵐に堪へ坐折せず獨學の峻坂を登つて

こそ螢雪の効が報られるのです。

涙ある苦闘と合格の歡喜!! あゝ貧弱乍らも某女学校の助教諭として恵まれてゐる身は、拙い筆を以てよく盡すことは出来ません。

鞏固なる意志を以て當つたならば、合格は得ることが出来ませう、進んで境遇を支配する雄々しい諸嬢であつて下さることを、後進の皆様期待您的ます。お互に石に嘯りついても初志を完うすべく力闘ませう。終りに駄筆を深くお詫び申上げて筆を擱きます。

裁縫科檢定受験記

私は本年五月静岡縣施行の試験に應じた者で御座いますが、これまでに先輩諸姉の受験記事を読みました時の嬉しさと、有難さと思ひまして、不才な私の此の稿が少しでも、誰かのお役に立てばと考へまして愚にも筆を執ることにいたします。

裁縫の理論にも實地にも又教育の方も、まだ浅い自分が餘りにそれは理想が大きいと存じ乍ら空想を實現化すべく志したのは昨年春まだ浅い二月の末で御座いました。丁度其の時祖母が逝き、

つゞいて自分も病氣になり、三ヶ月程遊んだので機會を逸してしまいました。「來年は是非應試したい」と心に期し乍ら餘り健康體でない私は病氣の事に懸念し乍らも冬の夜寒に起き出して、コックくと勉強しました。

明けて本年二月出願書類を全部まとめて出した時はほつと致しました。愈々試練の日が近づきます。所へ日姉から、「昨日東京のK様から十人に一人の割合の裁縫専科に合格なされたといふ涙ぐましいお便りを頂きました。あなたも何卒K様と同じ便りを頂かせて下さいませ、それに致しましてもお體は充分にお氣を付け下さい」と云ふ力強いお便りを頂いたのです。其の時も眼の健康を害ねて二週間程勉強を止めて居た時でした。私はどうあつても日様の御期待に添へたいと泣いたのでした。

試験が愈々明後日に接近してしまつた日に、「落付いて休むで掛るがよい」と在京の兄上からの打電もありましたので、今日あたり受験地に出掛けて、しどろに成つてゐる頭を冷靜にして應試しようとい前から考へてゐましたが、昨日來の頭痛に堪え兼ねて床に臥して居りました。

諦めようか、と幾度も思ひましたが、如何にも残念ですので、より悪くなつてもよいと覺悟して

その翌日、丁度試験の前日の朝出發しました。そして用意周到をモットウとしてゐた私は、試験場なるN商業學校を見て歸へり、其の夜は案外落付いて眠りました。

今日こそ試験の日で御座います。試験場まで二十分掛る事を昨日計つて置きましたので、時間に三十分早く参りました。控室には二十人程の人々が、二三人、五六人づゝグループを成して語り合つてゐます。三十歳をお越しになつてゐると思へる方がお二人、山梨縣から参りましたと仰言る方其の外皆實力の有り想な方のみです。一番年若なのが私のやうです。張りつめて居た自信の念が忽ち消えて行きます。

試験場へ入りますと、大きな教室の上手に整頓された机が列んでゐます。試験官の鞭音が落ち着かうと焦る私の脳髓へ食ひ込む様に思へて、胸が高鳴り指先が震へます。パツサリ第一の問題が封切りされました。

問題を読み違ひ、氣づいて訂正したりなどして意外の時間を要しました。これは往々有り勝のこゝとで、よく氣をつけねばならぬことで御座います。

ミシンには一寸困りました。裁縫の教師に就いて學んでゐる私は、毎日ミシンを使用してゐます

が、機械の名稱を不案内だつたのです。しかし、以前から私の收穫點豫想は實地にありますので、何んだか「これからだ」と云ふ様な氣がして落付けませんでした。

實地は二問とも平易すぎる程平易でした。洋服はその心算で充分のみ込んで來ましたので、うれしくてたまりませんでした。三時間と云ふを二時間も掛らずに終へましたので、却つて物足らぬ感で一杯でした。實地にはもつと裁縫科特有の技術を出せばよいにも思ひました。もつとも基礎縫ひは仲々むづかしいものとして専門家の研究する處ではありますが。

扱へ歸途につくと答案に對しての不満がぼつ／＼出て來ます。あれはもつとあゝするとよかつたこゝうするとよかつた、けれど仕方ありません、只發表を待つより外ありません。

病弱の身體を鞭打つて、ともかくも受験迄に辿りつき得たことを先づ喜ばねばなりません、若し幸ひにして合格の吉報を手にすることが出來れば望外の喜びであります。未だ不安のうち居る者です。

考へて見まするに、裁縫科専科と云つても、そう大して困難なものとも思へません。女子の獨學者として、尤もよい進路は此の専科ではありますまいか。初めから本正へ目ざす方もある様ですが

短い日時に準備出来るものとしては、裁縫科など女子として最好の得易い科であります。

自分の努力の日を顧みつゝ、日頃黙々と勉強して居られる世の同境の皆様のお姿を思ふ時、云ひ様も無い感慨に打たれます。お互に充分の注意を拂ひ手を握り合つて初志の貫徹に努力いたしませう。

(静岡——初子)

家事科に合格して

希望が達せられるといふ事は、誰しも嬉しいものでせうが、私などは、別して不束な者ですから此度の合格は、僥倖とは云へ、ほんとうに飛び立つ程の嬉しさを體驗致しました。一時は駄目かと迄思ひ、いつそ中止しようかとしたこともあつたのですが、心に鞭打ちつゝ勉強した甲斐があつたし亦、苦闘のつらさも慰められ酬らされたのです。

さて、受驗記と云つても、生來の愚者ゆえ、纏つたものも書けません、とにかく至らぬまゝに書いて見ることに致します。

決心まで

私は、小學卒業後、女學校に行く丈の餘裕がありませんでしたので、女學講義録をとつて勉強して居りました。その中、受驗雜誌で小學校教員檢定試験が各縣で行はれる事を知つたので、及ばず乍ら受けて見ようと思ひ、先づ一番易い尋准を選んだのでした。しかし、よく考へて見ると、尋准よりも専科の方が正教員となれるので、此の方がよいかしらとも考へ、迷つてしまひました。幸ひ其の時村の處女會が學校で開かれたので、女教員でありますK先生に此の希望を話しました所、大層賛成して下さいまして、とにかく、詳しくお教へするから、宅へお出でをと云はれるので、其の夜早速K先生宅へ伺ひ、種々と教へを戴きました。そして、専科正教員の家事科へ進む事に確定したのです。

準備

準備についてはK先生から指導を仰いで、着々取りかゝりました。自分一人ではさつぱり見當が

つかないのに、K先生のお教へは、本當に暗夜に燈火を得た思ひ、有難さが泌々身にしみて嬉しかつたのです。これからお受けなさる方も、母校の先生か、先輩の方や既に受驗の經驗のお有りの方々に指導を願ふのが何よりと存じます。

参考書は前記講義録の外に、随分多くのものを読みましたが、中でも大江氏の家事教科書上下、それに同氏の家事實習案内は最も精讀いたした本です。此の外ありとあらゆるもの、料理の雑誌、單行本、家政や家計簿記など、手に入つたものは借りもしたり購つたりして、片端より讀みました。雑誌も家事向きのものの記事など念入りに讀み、疑問の處は一々先生に教へを乞ひました。その中、處女會の講習會が開催され、之れは、受驗準備をしてゐる私にとつて、幸ひなことに大いに有益で随分助かりました。講習會に來られたS先生にも自分の目的を話し、K先生からも願つて頂いて、特別に必要なことなど、ちよい／＼尋ねたり、教授して頂いたりなどしました。

料理などの實習には困りましたが、これは料理の雑誌をとつて参考としました。

かくするうちに、春季の試験期が來ましたが、私は準備半ばではあり、秋季に受けることゝして願書も出ませんでした。

夏となりました。家の者や友達なども、午睡に又は祭りなどといふ風でしたが、私は暑いとかお盆の騒ぎ所でなく、ひたすら準備を急ぎました。K先生は暑中休暇で實家へお歸りになつて了られたので、一寸心細くもなりましたが、何事も當分獨力で努めて見ようと、家の者の心配の注意もよそにして机に向つて暑さと蚊と戦ひました。

其の中にK先生も學校が初りましたので、お出でになり、縣の秋の試験の告示も發表になりましたので、願書を提出致しました。いよく願書を出すと、不安が伴ひ、又どうしても合格せねばと今度は日課表を作製して統一した勉強の仕方、今迄習得した所の整理もいたしました。それから折よく親戚のY市の叔母の主人が官吏をして居り、私の受驗について父から宿をたのんだので、それでは受驗まで此方で勉強した方が萬事都合であらうからと言つて來たので、早速に叔母の宅へ行き家事を手傳ひ傍々受驗勉強をしました。叔父もいろいろと心配して呉れ、その近くの某實科女學校の方に紹介して下さつたので、その方の下へ、夜時々伺つて教を乞ひました。かうして、兎も角も準備をととのへる事が出來ましたが、果してどうかと不安で堪りませんでした。

受 驗

受驗の前日、先づ試験場なる町端れの師範校舎へ行つて見ました。

試験当日は叔母や叔父に元氣づけられて、試験場へ出ましたが、初めてのことであり、胸が静りませんでした。しかし、出された問題を見ると、それほど困難ではなく答案文は書けました。時間が来て試験官より注意されて答案をしぶく出した方も見うけました。

午後の實地には随分惱まされ骨折りました。まつたく、村に生れて單調な古い型の生活をして居る者は、一層損な立場に在る事を考へました。

しみ抜き法は簡單にわけ無く出来ましたが、調理は手間取り、終つてからも、どうしても不満足にしか出来なかつたと、落ちはしないかなど、あらぬ事まで考へ泣き度い様な氣持になりました。理論の方は大抵大丈夫とは思ひましたが、實地がどうかと心配し乍ら歸宅しました。翌日叔母のもとを發つて實家に歸り早速、學校にK先生を訪ねて、受驗の模様を話しました。K先生は大丈夫でせうよと力づけてくれました。

合 格

不安の幾日かゞ續きました或る小春日和の午前、思ひがけ無く、私は合格通知を手にしました。父母に見せるもそこゝにK先生の下に飛んで行つて、本當に涙を流して嬉んだり感謝したのでした。先生も自分の事の様に喜んで下さいました。そして、「もう立派な正教員様になれますよ」と仰言いました。

考へると、私の如き田舎娘がともかくも資格を獲られたのですから、喜ばしくもあり、之れで女學校へ行けなかつたことを悲しんだことも取返したと思ひました。

努めさへすれば、一心になれば、きつと神様が助けて下さるのではないでせうか。私はこれから受驗なさる同性の方々に切にお奨めする事があります。それは途中で勉強をお止めになつてしまつて目的を捨てる様なことをなさらないことです。最後まで、家事科一科目丈の準備で好いのですから、必ず出来ると思ひます。又たとへ合格後先生にならなくとも家庭の主婦としての立派な資格を得たとしても意義あると存じます。つまりぬことを書き連ねましたが、御判讀下さいまして